

平成19年度 市民企画事業補助金

成果報告書



八王子市

平成20年7月

目 次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧	4
5	事業成果報告	5
	(1) 脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	6
	(2) 紙芝居普及活動	8
	(3) 音楽療法体験・ワークショップ	10
	(4) 不登校ひきこもり者自立支援及びカウンセリング新事業に関する広報活動	12
	(5) 里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	14
	(6) 第5回七夕交流会	16
	(7) 荒廃竹林の整備と竹紙生産に関する研究及び啓発事業	18
	(8) 市民参加型援農活動による農業の活性化	20
	(9) 子育て学習会(リトルアプリコット)	22
	(10) 英語劇を通して学ぶ多文化理解事業	24
	(11) デイジー図書作製	26
	(12) 学校図書館999(キューキューキュー)!	28
	(13) 八王子大江戸舞祭2007 八王子合同合宿	30
	(14) 夢あるまちづくり	32
	(15) 八王子健康生きがいフェスティバル	34
	(16) 外国人のデジタルデバイス解消のための相談会	36
	(17) 「滝山城ガイドブック」の作成(出版)	38
	(18) 3世代交流広場事業	40
	(19) 「夏休み親子日本語教室」	42
	(20) 高尾周辺花めぐりガイドブック	44
	(21) 八王子散策ポケットブックの作製	46
	(22) 越中八尾おわら風の踊り in 八王子(おわら風の盆)	48
	(23) ふるさとの食を拓く	50
	(24) 八王子子ども祭り	52
	(25) 地域社会の活性化を図る趣味の作品展	54
	(26) 子ども支援と高齢者に生きがいつくり、世代間交流	56
	(27) 「八王子の手話」ガイドブック	58
6	成果報告会アンケート結果集約	60
7	交付団体連絡先一覧	66

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市内で活動する団体が、地域の課題の解決やよりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、その経費の一部を補助するものです。

この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募方式により募集し、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業には、以下の2部門があります。

活動支援 部 門	<p>すでに公益的な活動に取り組んでいる、またはこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介するために要する経費を補助します。ただし、計画段階での事業費が5万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費 ただし上限10万円（千円未満切り捨て） 補助回数・・・ 同一団体2回まで補助を受けることができます。</p>
事業実施 部 門	<p>市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や、将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。</p> <p>補助金額・・・ 補助対象事業費の1/2以内 ただし上限100万円（千円未満切り捨て） 2回目以降は補助対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、とします。 補助回数・・・ 同一の事業に対して3回まで補助を受けることができます。</p>

(3) 補助事業の採択

庁内審査会による予備審査、有識者・学生等で構成する「市民企画事業補助金審査委員会」による本審査を行い、その審査結果（補助対象事業の選考及び交付額の査定結果）をもとに決定します。

活動支援部門については、書類審査のみ行います。

事業実施部門については、予備審査で書類審査を行った後、本審査では、書類審査のほか、一般公開でのプレゼンテーションも審査の対象とします。

審査項目は下表のとおりです。

区 分	活動支援部門	事業実施部門
予備審査	公益性 期待度 補助金交付の必要性	政策合致性 計画性 社会貢献度 ニーズの高さ 八王子らしさ 補助金交付の必要性
本審査	公益性 期待度	計画性 社会貢献度 ニーズの高さ 創意工夫

本概要は19年度の概要であり、20年度以降は内容に変更があります。

20年度の内容は、市のホームページで確認できます。

市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

日 時 平成19年2月18日(日) 10:30~17:00

場 所 クリエイトホール 5階ホール

参加団体 25団体

一般参加 28名



(2) 情報交換会

日 時 平成19年10月10日(水) 13:30~16:00

場 所 市役所 904会議室

参加団体 21団体 41名

写真は平成18年度のものです。



(3) 成果報告会

日 時 平成20年5月31日(土) 13:30~18:00

場 所 北野市民センター ホール

報告団体 27団体

一般参加 26名



(4) 事業成果のパネル展示

日 時 平成20年7月14日(月)~25日(金)

場 所 市役所 2階市民ロビー

写真は平成18年度報告分です。



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

委員長 明星大学人文学部教授 渡戸一郎

去る5月31日(土)午後、北野市民センターのホールにおいて、平成19年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が開催され、活動支援部門9事業、事業実施部門18事業の計27事業の報告が行われました。質疑を含めて1事業8分という非常に制約された中で、補助金交付を受けた各団体による熱意にあふれた報告が続きました。以下、審査委員長としての講評を述べさせていただきます。

はじめに、各部門の報告を概観してみます。まず活動支援部門ですが、この部門は「すでに公益的な活動に取り組んでいる、またはこれから取り組もうとする団体の活動を紹介するために要する経費を補助」するものです。この補助金(上限10万円)を受けることによって、「活動の目処がついた」、「問い合わせが増えた」など一定の成果があったとする団体がある一方で、「本当に必要な人に情報を届けるのは難しい」とあらためて反省する団体なども見られました。しかし程度の差はあれ、概ね各団体の事業の前進・定着に役立てていただけたようでした。

事業実施部門は、「市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部」を補助するものです(上限100万円ですが、交付額は10万円未満から100万円まででした)。ここでも、「新規会員が増えた」、「活動の定着が図られた」、「活動の場ができた」、「活動に必要な機材を充実できた」、「他の地域団体との連携が進んだ」などの成果が報告されましたが、一方で、「市内の他団体との連携が課題だ」、「相談者が少なかった」などの反省を述べた団体や、単発の講演会・公演会などの場合、当日の天候等の影響もあり、予定した入場者数が確保できなかったケースも見られました(但し、内容的には好評を博したようです)。

両部門を通じて見ると、全体として、事業計画を「申請どおり実施できた」あるいは「概ね実施できた」と各団体によって自己評価されていますが、新たな課題を抱えることになった団体もあることが分かります(新たな課題の発見は、活動の今後の展開に向けた新たなチャンスでもあります)。また、この補助金の交付を受けることで、「当該団体の社会的信用が得られた」との感想もあったことは、とりわけ新たな市民活動の立ち上げ支援として本補助金制度が一定の有効性をもつことを実証していると言えるでしょう。

最後に、5時間近くに及んだ27報告を聞いて、あらためて強く感じたことをふたつだけ述べさせていただきます。

第一に、市民活動団体の多くが中高年齢層の市民の熱意によって担われていることです。すぐれたリーダーの方々が多く見られますが、心配なのは次世代のリーダーを育てているのかという点です。強力なリーダーほど、次のリーダーを育てることに失敗している可能性もあると言います。柔軟な形で若い世代の活動者といかに協働・連携し、活動の魅力を活性化していくか、その工夫と努力がますます重要になっていると思います。

第二に、これらの市民活動の多くが、それぞれ、行政の公共性とは異なる、新しい公共的な役割を担っていることです。それは、市民生活や地域社会の中から多様化・複雑化する潜在的なニーズを掘り起こし、市民の力で解決していくための新たな事業形態を作り出そうとする試みであり、さらに、潜在的な個々の問題に気づき、それらをより広い文脈で社会問題化する役割です。まさに「下からの市民社会づくり」です。そこでは、行政機関の施策や企業の市場サービスでは充足されない社会的ニーズを「補完する役割」と同時に、行政の事業や企業の活動のあり方を「補正する役割」も期待されます。その意味では、行政の「補完」に止まらない、「協働」のより積極的な位置づけが重要になります。そして、ここでは、市民企画事業を通してだけでなく、情報の共有と一定のコミュニケーションの場の確保を前提に、市民活動団体と市の各セクションが、必要に応じて限定的な課題についてともに企画していく事業が多様な分野で増え、実績を積み重ねていくことが切に望まれます。

4 交付事業一覧

(単位 円)

部門	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動 支 援 部 門	脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	287,307	100,000
	紙芝居普及活動	172,705	100,000
	音楽療法体験・ワークショップ	150,339	100,000
	不登校ひきこもり者自立支援及びカウンセリング新事業に関する広報活動	50,000	50,000
	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	100,717	100,000
	第5回七夕交流会	112,695	99,000
	荒廃竹林の整備と竹紙生産に関する研究及び啓発事業	100,540	100,000
	市民参加型援農活動による農業の活性化	232,493	100,000
	子育て学習会(リトルアブリコット)	121,273	100,000
	計	1,328,069	849,000
事 業 実 施 部 門	英語劇を通して学ぶ多文化理解事業	375,225	187,000
	デイジー図書作製	206,750	103,000
	学校図書館999(キューキューキュー)!	292,160	146,000
	八王子大江戸舞祭2007 八王子合同合宿	1,065,137	500,000
	夢あるまちづくり	865,137	415,000
	八王子健康生きがいフェスティバル	148,907	71,000
	外国人のデジタルデバイド解消のための相談会	1,412,431	706,000
	「滝山城ガイドブック」の作成(出版)	922,273	300,000
	3世代交流広場事業	1,535,277	767,000
	「夏休み親子日本語教室」	500,601	250,000
	高尾周辺花めぐりガイドブック	2,050,000	1,000,000
	八王子散策ポケットブックの作製	988,459	494,000
	越中八尾おわら風の踊りin八王子(おわら風の盆)	3,795,348	800,000
	ふるさとの食を拓く	521,269	160,000
	八王子子ども祭り	1,284,642	400,000
	地域社会の活性化を図る趣味の作品展	254,719	84,000
	子ども支援と高齢者に生きがいつくり、世代間交流	4,370,549	600,000
	「八王子の手話」ガイドブック	1,081,160	515,000
計	21,670,044	7,498,000	
合 計	22,998,113	8,347,000	

補助対象事業費は、事業費と額が異なる場合があります。

5 事業成果報告

(1) 脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」	6
(2) 紙芝居普及活動	8
(3) 音楽療法体験・ワークショップ	10
(4) 不登校ひきこもり者自立支援及びカウンセリング新事業に関する広報活動	12
(5) 里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり	14
(6) 第5回七夕交流会	16
(7) 荒廃竹林の整備と竹紙生産に関する研究及び啓発事業	18
(8) 市民参加型援農活動による農業の活性化	20
(9) 子育て学習会(リトルアプリコット)	22
(10) 英語劇を通して学ぶ多文化理解事業	24
(11) デイジー図書作製	26
(12) 学校図書館999(キューキューキュー)!	28
(13) 八王子大江戸舞祭2007 八王子合同合宿	30
(14) 夢あるまちづくり	32
(15) 八王子健康生きがいフェスティバル	34
(16) 外国人のデジタルデバイド解消のための相談会	36
(17) 「滝山城ガイドブック」の作成(出版)	38
(18) 3世代交流広場事業	40
(19) 「夏休み親子日本語教室」	42
(20) 高尾周辺花めぐりガイドブック	44
(21) 八王子散策ポケットブックの作製	46
(22) 越中八尾おわら風の踊り in 八王子(おわら風の盆)	48
(23) ふるさとの食を拓く	50
(24) 八王子子ども祭り	52
(25) 地域社会の活性化を図る趣味の作品展	54
(26) 子ども支援と高齢者に生きがいつくり、世代間交流	56
(27) 「八王子の手話」ガイドブック	58

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

平成20年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	月とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」		
団体名	ヒーリングアート・イラストカフェ		
事業費	287,307	円	補助金額 100,000 円

事業の目的・内容	目的	認知症の予防と症状改善、不登校・ひきこもり・育児不安・うつ症状等への心の癒し、幼児・児童の創造性開発、発達障がい等障がいをもつ方のコミュニケーション力向上等市民のQOL向上に資するとともに、ダイケアスタッフの資質向上等講座活動を通して広報を行い、認知度の向上を目指す。
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 上記の目的を実現するための年間22回の定期講座、夢キッズ、安全ネットの講座及び広報活動（講座案内、ちらし、ポスター、ホームページ） 市民活動協議会に集う諸団体への広報と交流、連携 包括型支援センターや支援諸施設、団体、福祉系大学学部、学生への広報と連携

事業の活動実績	<p>1) 広報活動の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間22回の講座案内、ちらし、ポスター作成・配布・発送/チラシ紙・市の広報への掲載 広報ちらし、ポスターのクリエイトル・市民会館・市民センター・市役所・図書館・支援センター、スーパー等の商店、包括型支援センター、支援諸施設等への発送・配布依頼 八王子市民活動協議会主催諸行事でのちらし広報・交流・ホームページ参入 男女共同参画フォーラム・アクティブ市民塾・生涯学習センター（マ）・セタマツリ・いちより祭り・子ども祭り等でのワークショップ、作品展示、広報・交流 <p>2) 講座活動の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間22回の講座実施/在宅子育て母子・夢キッズでの親子アート/まじりあでのアート/ひまわりの家・生活クラブでのアート/発達障がいの方へのアート/ダイケア施設でのアート <p>3) 純心女子大学・法政大学福祉関係学部学生へのちらし広報・教援との面談</p> <p>4) 活動母体の拡充—近隣諸地域・都内アート団体との連携により「活き生きアート」結成/日本臨永美術協会主催アート・カリキュラム講座への参加・受講</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>① 広報活動の充実により、来講者数の増加、デイケア施設からのスタッフ受講、デイケア施設との連携、ミニコミ紙、タウン紙が取材に来講するなど認知度を高める効果がみられた。</p> <p>② 八王子市民活動協議会参加諸団体に認知され交流が活発化するとともに、請サポート、用紙寄付、講座の場の提供等が得られ特に支援センターからは、他の民間助成金の申請等の紹介をいただき厚くサポートを受けた。</p> <p>③ 年間22回の講座、その他の諸講座も実施でき、200人以上の市民の参加を得、恒常的な参加者も増え、口コミによる認知の向上が図れた。</p> <p>④ 外部団体のアクション、作品展示等を通じて市民の皆さんにアートの素晴らしさや楽しさを知ってもらい、関心が多く寄せられ、来講者の増加もみられた。</p> <p>⑤ 在宅子育て母親のサポート、夢キャス：親子dePART、てだまりの家、生活クラブ発達障がいのおやなどへのアート講座、デイケアの講座など活動の場が広がり認知度を高め、広めることができました。</p> <p>⑥ 法政・純心女子大学の福祉関係学部学生への広報等の結果、受講者や見学者も増加、大学祭の折りに交流も図れた。教授との面談で市に芸術療法を採り入れることの必要性等について確認できた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) ・教材・用紙等は、講座数が増えたため、大幅に予算を上まわった。 ・交通通信費は、講座増加、広報(市民活動関係)のため大幅に増加。 ・チラシ広報経費は、寄付・ストック等の用紙を用いたが経費増となった。
	その他、評価すべき点等	・諸講座を通して参加者から癒やされた、元気が出た、初めてできた自信があった、心が活性化した感じ等の感想をもらった。 ・アート活動による癒しを必要としている方々に、情報を届け活用していただきたいと切望します。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>① 広報活動の重点的展開と、作品展示の充実</p> <p>② 医療と介護の現場に創作アートををモットーに、デイケアスタッフ等のアート実技研修実施。</p> <p>③ 八王子市に芸術療法を採り入れるよう、市にはたらくかける。</p> <p>④ デイケア、支援諸施設との更なる連携を図る。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	紙芝居普及活動		
団体名	わくわく紙芝居サークル		
事業費	172,705円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>日本独自の文化である紙芝居の魅力を広く伝え、演じ手と聞き手がお話の世界を共有することによりコミュニケーションを図る。現代社会においてコミュニケーション力の低下が問題視されているので、日本独自の文化である紙芝居を通して、高齢者の方や子ども達、一般市民の方々と心の交流を図っていききたい。しかし、現在の会員数では活動範囲が狭く、知名度にかけるため公演場所も限られてしまう。そこで講座案内チラシ等を広く配布することにより、会の認知度を高め、初心者に向けた講習会を行うことで今まで紙芝居に触れていなかった方々に興味を持ってもらい、この活動に参加していただくことにより市内全域に活動を広げていきたい。</p>
	<p>内容</p> <p>会の存在と活動内容を広く一般の方に知っていただくために、下記的手段で広報活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 定期的な公演（年間計画記載場所）及び子どもの紙芝居実演指導等を行う。 * 出張公演（各種祭り・病院等）- 自主的に参加し、又依頼に応じて行う。（不定期） * 初心者向け紙芝居連続講座の開催 - 専門知識を持った講師の講習により紙芝居の特性や魅力を伝え、紙芝居に対する関心、理解を深める。 * 経験者向け紙芝居講座の開催 - 初級者向け連続講座参加者と新たな参加者のうち、更に技術を高めたり実践に生かすことを希望される方のために継続して開催し、より深く学びあうと共に公演活動に対する興味を深める。 * 団体紹介リーフレットを作成し、初心者講座に向けてチラシと共に広く配布する。広報にも載せて広くPR活動をする。

事業の活動実績	定期公演	子安保育園	子安学童	健康クラブ北野	ローズガーデン (テイケアセンター)	八王子市親子のつどいの広場(夢キッズ)
		H19.4.25	-	H19.4.10		
		H19.5.29	H19.5.28	H19.5.25		
		H19.6.26	H19.6.25	H19.6.29		
		H19.7.30	-	H19.7.27		
		H19.8.28	-	-	H19.8.28	
		H19.9.28	H19.9.25	H19.9.28		
		H19.10.30	H19.10.29	H19.10.31		
		H19.11.27	H19.11.26	H19.11.27	H19.11.27	H19.11.21
		H19.12.14	H19.12.21	H19.12.21		H19.12.14
		H20.1.29	H20.1.28	H20.1.26		H20.1.9
		H20.2.26	H20.2.26	H20.2.26		H20.2.27
		H20.3.4	H20.3.17	H20.3.14	H20.3.4	H20.3.26
	出張公演	カトレア(テイケア)	地域文化祭	加住市民センター		
	H19.6.23	H19.10.28	H19.12.22			
初心者向け連続講座	場所 クワイホール	H19.10.19	33人			
		H19.10.25	35人	八王子テレビ取材	当日18:00放送	
		H19.11.1	34人			
経験者向け継続講座	場所 クワイホール	H20.1.28	30人	内	連続講座参加者12人 新規9人	
広報活動	リーフレット3000部作成 講座案内チラシ2500枚作成 ポスター100枚作成	2500枚 約150カ所配布 (内訳) 学童保育所10枚*60ヶ所+ポスター各1枚 児童館 ポスター12ヶ所 市民センター-他 20枚*65ヶ所 保育園・子ども劇場他 600枚				
	劇団四季公演時配布物に連続講座案内掲載・約1000部					
	次回講座案内・葉書等でお知らせ 40人					
	アサヒタウンズ H20.2.28付け「スローに暮らす」にて活動紹介 (多摩全域50万部発行)					

事業の成果・効果	* 定期公演において、前年度からの3ヶ所に加え2ヶ所増えたことにより活動の基盤が広がった。
	* 初心者向け講座では広報活動の成果により、3回講座全体で39人(会員外)が参加して下さった。
	* 八王子テレメディアによるデイリーニュースにて講座の様子が紹介され、又アサヒタウンズにも活動紹介記事を書いていただき、メディアの反響もあり全問い合わせ件数は64件となった。 内訳:チラシ20名 参加者紹介17名 会員紹介7名 アサヒタウンズ6名 広報4名 協働推進課3名 他
	* 参加者がとても喜んでくださり、口コミで更に広がって沢山の方に紙芝居に興味を持っていただくことができた。
	* 3回連続講座の出席者より継続して行って欲しいとの要望が多数出たため、継続講座(1/28)も企画した。
	* 新規会員として8人が登録をして下さり、会員数が16人に増えた。

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた(2) 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	(1) できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ(2) 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) リーフレット作成につき、見積もりが甘く予算より高くなってしまった。
	その他、評価すべき点等	広報活動を広く行った事や、「市民企画事業補助金助成事業」ということで安心して講座に沢山の方が参加して下さった。その中から継続して講座に参加して下さる方やお友達等に紹介して下さる方もあり、紙芝居の輪を益々広げていくことができた。活動内容もメディアを通して紹介していただき、新規公演場所も2ヶ所増えた。H19年度の結果として8人が会員登録をして下さったことは大きな成果となった。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	平成20年度も初心者向けの連続講座を行い、広報活動を積極的に行うことによって新規参加者を募る。又定期的に経験者向け講座を開き紙芝居への理解を深めると共に、会員の増大を目指す。講座受講によって会員も参加者と共にスキルアップを図る。
	新規に登録して下さった方で定期公演にも参加して下さる方には、少しずつ慣れていただいて活動の場を広げていく。
	定期公演の場所も4月当初より2カ所増え、今後も継続していく予定。 公演依頼も数件あったので、積極的に応じて会の知名度を上げると共に、活動の幅を広げていく。



(連続講座にて講師による実技指導の様子)



(子安保育園にて定期公演)

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	音楽療法体験 ワークショップ		
団体名	豆の木音楽療法研究所		
事業費	150,339円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 音楽療法や当研究所について、より多くの市民の方に知っていただきたい。現在、音楽療法はあまり身近なものとはなっていない言葉であり、誤解も多い。今回は、実際に多くの方に気軽に体験していただくことを目指している。</p>
	<p>内容 1. 児童対象の体験・音楽療法ワークショップ・・・音楽活動を通しての一体感や、児童特有の興味関心の強さなどを考慮し、『目・耳・からだ』と音楽とを感覚的に体験できるような活動を目指す。 2. 高齢者対象の体験・音楽療法ワークショップ・・・心地よい音楽の体験を聞く・うたう・動くなどを通して感覚的に体験していただく。また、終了後その活動の中での音楽療法的音楽の特性についてを説明する。</p>

事業の活動実績	<p>ワークショップを 年間9回実施した。</p>																																							
	<table border="0"> <tr> <td>児童のための音楽療法体験ワークショップ</td> <td>8月6日</td> <td>午前の部</td> <td>・・・16名参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>8月6日</td> <td>午後の部</td> <td>・・・6名</td> </tr> <tr> <td>子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>9月24日</td> <td></td> <td>・・・10名</td> </tr> <tr> <td>子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>10月8日</td> <td></td> <td>・・・6名</td> </tr> <tr> <td>高齢者向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>10月14日</td> <td></td> <td>・・・13名</td> </tr> <tr> <td>子どもたち音楽療法体験ワークショップ</td> <td>1月30日</td> <td></td> <td>・・・14名</td> </tr> <tr> <td>高齢者向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>2月3日</td> <td></td> <td>・・・5名</td> </tr> <tr> <td>子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>2月25日</td> <td></td> <td>・・・5名</td> </tr> <tr> <td>高齢者向け音楽療法体験ワークショップ</td> <td>3月2日</td> <td></td> <td>・・・7名</td> </tr> <tr> <td></td> <td>全9回</td> <td>延べ参加者数</td> <td>・・・82名</td> </tr> </table>	児童のための音楽療法体験ワークショップ	8月6日	午前の部	・・・16名参加		8月6日	午後の部	・・・6名	子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	9月24日		・・・10名	子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	10月8日		・・・6名	高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	10月14日		・・・13名	子どもたち音楽療法体験ワークショップ	1月30日		・・・14名	高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	2月3日		・・・5名	子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	2月25日		・・・5名	高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	3月2日		・・・7名		全9回	延べ参加者数
児童のための音楽療法体験ワークショップ	8月6日	午前の部	・・・16名参加																																					
	8月6日	午後の部	・・・6名																																					
子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	9月24日		・・・10名																																					
子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	10月8日		・・・6名																																					
高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	10月14日		・・・13名																																					
子どもたち音楽療法体験ワークショップ	1月30日		・・・14名																																					
高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	2月3日		・・・5名																																					
子どもたち向け音楽療法体験ワークショップ	2月25日		・・・5名																																					
高齢者向け音楽療法体験ワークショップ	3月2日		・・・7名																																					
	全9回	延べ参加者数	・・・82名																																					



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>この事業に補助金が交付されたことにより、通常の設定より、参加費を低くして提供することが出来た。場所についても、公共の場所でわかりやすく安心してご参加いただけたと思われる。</p> <p>以前に比べ、反響や問合せが格段に多かったことからしても、『広報はちおうじ』や各市民センター等公共施設へのチラシの配布もスムーズにできたこと、市の事業補助を受けて行っていることなどで、市民の方へアピールが出来たと思われる。</p> <p>ただし、問合せの中では音楽療法自体についての問合せがあり、その疑問から参加への二の足を踏む方も数少なくなかった。療法というものについて、今後周知していただく内容のものを企画していくことを検討したいと考えた。</p> <p>日程についても、参加希望の方の思うままにならない状況があり、今後も検討していきたい。</p> <p>実際、参加日になっても参加者は予定の人数に達しないことがはじめの段階であったため、会場を小さな規模のところに 変え、対応スタッフの人数も減らし、逆に開催の日数を大幅に増やして実施していくことにした。このことで、予定と変更はあったが、事業の目的からして、“より多くの方に知っていただきたい”ということについては達成できていると考える。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 1. 公共の場への配布が主だったため、郵送費が大幅に削減された。 2. 企画回数を増やす必要があり、そのことで対応スタッフの通算人数が増え謝礼が増えた。
	その他、評価すべき点等	柔軟に対応し、最初の段階で予測をたてて、以降は会場の規模や日程、対象者枠を広げたことは、少しずつではあるが啓蒙へ向けて活動できたと考える。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

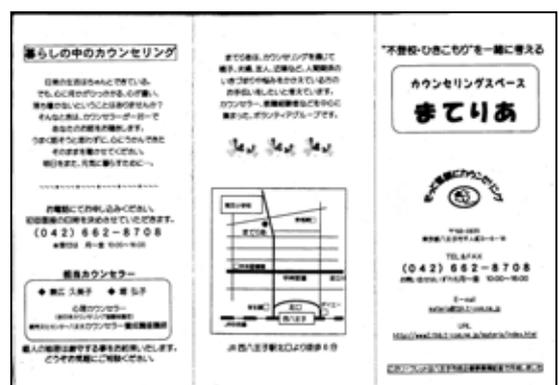
今後の事業展開	<p>寄せられた要望や、問合せによって、音楽療法自体についての講座を実施し概念てきにも広がっていくように考える。また、19年度は取り上げなかった『障害者』の体験ワークも取り上げていく。</p> <p>20年度は、参加者の定員枠を予定の段階から小規模とし、回数を多く企画する。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	不登校ひきこもり者自立支援及びカウンセリング新事業に関する広報活動		
団体名	カウンセリングスペースまてりあ		
事業費	50,000円	補助金額	50,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>当団体は平成15年から千葉県市川市のひきこもり者自助グループNPO法人セカンドスペースの八王子支部として種加してきたが、世帯ごとで避難であるため、なかなか連携がとれず、本年11月1日より、独立して種加することになった。独立後は、新事業として地域一般の方を対象とした「暮らしの中のカウンセリング」や「箱庭療法体験」などを企画実施している。しかし、独立に伴い、名称の変更、種加内容の変更を行なったものの、財源の困難のため、新体制についてのリーフレットづくりが未だ出来ていない。新事業である個別カウンセリングや、これまで続けてきた不登校ひきこもり者自立支援事業は、八王子市内でもより、他市においても需要が見込まれるにもかかわらず、地域における知名度が低く、援助を求めている人たちに当団体のことを周知して知らせてもらう機会が少ないうえに現状である。そのため本事業を企画した目的は、補助金を受け、リーフレットを作成し、当団体のような種加を知ってもらうことが第一である。</p>
	<p>内容</p> <p>団体名、活動内容の変更に伴う新リーフレットを作成し、当団体の活動を広く広報すること。リーフレット作成後各方面に配布。</p>

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレットを 1800 枚作成した。 ・リーフレットを以下の各所に置かせてもらった。 <ul style="list-style-type: none"> ・八王子市各事務所 計 200 部 ・浅川市民センター 50 部 ・横山市民センター 50 部 ・恩方市民センター 30 部 ・教育センター 20 部 ・いちよう祭り 200 部 ・生涯学習センター学習会 50 部 ・アクティブ市民塾（平成19年8月18日） 50 部 ・お父さんお帰りなさいパーティー（平成20年3月15日） 50 部 ・市民活動支援センター 50 部 ・その他各種会合 50 部 ・リーフレットをまてりあ所在地周辺のほか、八王子市内各地でポスティングによる配布を行なった。千人町を中心に、約500部
-------	---



様式9 (2枚目)

事業の実績	<p>今まではホームページを公開してはいたが、まてりあに対する認知度が高かったわけではなく、まてりあを訪れる人は口コミによるところが大きかった。</p> <p>しかし今回リーフレットを作成・配布したことによって、リーフレットを見ての問い合わせが確実に増えてきた。(引きこもり・不登校関連 5件 うち2件相談継続中。親子箱庭 8件。一般箱庭体験 10件。カウンセリング 4件。)箱庭関連の問い合わせが多いが、箱庭体験後、カウンセリングを希望される方が多く、子育てに関する相談が増えた。</p> <p>リーフレットを見て来室された方が、2・3枚ずつリーフレットを知り合いに渡してくれるという形で広がっていくことも多くあった。</p> <p>また、今は利用する予定ではないが手元にリーフレットがあることによって、将来的に問い合わせをされる可能性も有ると考えられる。</p>
-------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今回リーフレットを作成・配布したことによって各所の窓口の方々にも知ってもらうことができた。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回リーフレットを作成・配布したことによって、多くの方々にまてりあを知ってもらうことができたと思うが、今は必要ないということで見なかった人たちもたくさんいると考えられる。そういった人たちにこのような団体があると心に留めてもらうためにも、今後も継続的に広報活動を行なっていく必要性を強く感じる。</p>
---------	---

平成 19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり		
団体名	畦っこ元気くらぶ		
事業費	100,717円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

私たちの身近にある自然の豊かさを知らなければ失われていく事も気づくことは出来ません。いま、谷戸田や雑木林の荒廃が進み里山に棲息する動植物は絶滅の危機にさらされている。私たちの地域に残されている貴重な里山の回復と自然に親しめるフィールドづくりを進め、自然体験や環境学習を通して地域づくりを展開していく。

ふるさとの原風景である里山環境を回復させ、そのフィールドを利用して自然観察会や自然体験を行い、活動に参加する会員の募集を地域に周知する。
 情報発信やフィールド周辺に掲示板を設置して地域に情報が伝わる方法を充実させていく。
 子供と大人が交流を深められるイベントを通して地域、学校と協働、連携した活動を進める。

事業の実績	<p>4月18日(日) 田起こし作業 6名 5月5日(日) 田起こし、水路整備 9名 5月13日(日) ため池整備 4名 6月10日(日) 代掻き作業 8名 6月17日(日) 田植え作業 10名 6月24日(日) イノシシ防除柵設置 3名 7月8日(日) 畦の修復、イノシシ防除柵の補強 6名 8月12日(日) 畦の草刈作業、田んぼの除草 8名 9月8日(日) 田んぼに雀除けの網を張る 6名 10月14日(日) 稲の刈り取りとはざ掛け作業 8名 11月18日(日) 稲の搬出と保管の移動 4名 川口中学校に移動 11月25日(日) 稲の脱穀ともみすり作業 10名 川口中学校で実施 12月9日(日) カタクリ生息地の保全作業と盗掘防止用の立ち入り禁止ロープの取り付け 4名 1月26日(土) カタクリ生息地の下草刈りと侵入防止の柵を設ける 6名 2月17日(日) 雑木林内の枯損木片付け、ため池水路の補給等の整備 4名 3月9日(日) ため池、水路の整備 6名 3月15日(土) イベント「早春の里山あるきと餅つき体験」川口小学校の児童40名、大人20名 餅つき体験には途中から川口中学校生徒も加わり100名近くの参加者に達した。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>1. 平成19年度は回復途中の休耕田で田植えから収穫までの農業体験を実施することができた。 当初、田植えから収穫作業までを学校の体験活動の一環として実施する計画だったが、活動に参加している会員が米作りを経験していない、回復した田んぼは30年間放置されていた。加えて田んぼ周辺にはガラス瓶などのゴミが散乱しているなど、子どもたちが安全に作業するには問題があった。そのため、平成19年度は会員が田植えから収穫、脱穀までの作業を体験した。 平成19年度に実施した田植え面積は250平米、脱穀した物の収穫量は50*_口、餅つき用の精米量は22*_口、残りは種もみ用として保管した。収穫米は化学肥料、除草剤などを全く使用しない、完全無農薬の有機米。脱穀作業は川口中学校の「ふるさと学習室」の足踏み式脱穀機、千歯扱きや唐箕(とうみ)を使い実施した。</p> <p>2. 3月には、イベント「早春の里山歩きと餅つき体験」を開催した。内容は活動拠点の散策と収穫した餅米で餅つきを行った。参加者は川口小学校児童40名、大人20名、中学生が途中から参加して100名ほどが楽しんだ。</p> <p>3. カタクリ生息地は毎年開花時期に盗掘される事態が発生している。19年度も保全区域の下草刈り、立ち入り禁止看板の設置やロープ取り付けを実施したが効果はなかった。今年は活動を始めてから開花株数が最も多かった。</p> <p>4. 保全区域の回復した田んぼ周辺では、動植物の回復が明らかに増加している。今年はヤマアカガエル、ヒキガエルの産卵が昨年に比べ増加。田んぼにはアオサギが餌場として1羽飛来、イノシシの活動も活発で周辺は土が掘り起こされ、足跡も多数確認された。</p> <p>5. 今後の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貴重な植物が盗掘される事態が発生、その対策と防止 ・活動資金の調達 ・活動メンバーの年齢構成が50代中心、活動の安定と継続には次世代に繋がる人材育成
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2. 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 農機具が故障して、農機具店の協力により安価で中古品を購入した。
	その他、評価すべき点等	当初の計画通り、規模は小さいが田植えから収穫までを体験できるフィールドが立ち上がった。田植えから収穫までの期間は、日増しに生長する稲の姿は大人でも感動する。谷戸田を通して、子どもたちが稲の生長を見守り、四季の変化や生き物たちの観察を通して自然の大切さ、食の大切さ、命の大切さについて体験を通して考える活動の場に仕上がってきた。

自己評価の欄は、番号に をつけてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>1. 活動拠点周辺の雑木林の手入れ区域を拡大する。</p> <p>2. 活動参加者、会員を増やすための広報活動の充実を図る。</p> <p>3. 谷戸田での田植え、稲刈り、収穫作業が地域、学校と連携して取組み出来る体制づくり。</p> <p>4. 活動拠点での自然体験、環境学習などのイベント開催を定期的実施する。</p> <p>5. 回復した動植物の保護が地域で取組み出来る活動の展開</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	第5回七夕交流会		
団体名	南大沢音訳の会「こだま」		
事業費	112,695円	補助金額	99,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>視覚に障害のある方・ボランティアの方・関連の団体の方等と、直接お会いし、コミュニケーションをとり合い、交流の輪を広げる。視覚に障害のある方が外に出て、人と交流し、自立していくための手助けとなる交流会にする。当会をより多くの人に知ってもらう。</p>
	<p>内容</p> <p>交流会を視覚障害者の手助けになるよう計画する。互いの自己紹介・歓談・歌・特技の披露など(朗読も)のプログラムを組み、自ら行動しようとする意欲が持てるよう配慮する。広報活動をより積極的に行い、当会の存在を多くの市民にアピールしていく。</p>

事業の活動実績	<p>第5回七夕交流会は平成19年7月1日(日)八王子労政会館にて午後1時30分~3時30分に催した。参加人数80名(内訳:障害者・一般50名 会員30名)</p> <ul style="list-style-type: none"> 交流会案内を前回同様、市の広報を始め、朝日新聞等数多くの(10数社)の情報誌やケーブルテレビに取り上げていただいたことで、一般市民の方々から当会の活動や交流会についての問い合わせが昨年以上に多くなり、当会の存在を更に広くアピールできた。 視覚に障害のある方の参加が昨年より多く、特技を披露することが楽しみで、という声もきかれた。自分の活動を堂々と話す方々もいて、自立を促すことも目的としている当会としては、おおいに満足させられた。 交流会の様子が八王子テレメディアで放映されたことで、当会の存在を広くアピールできた。 助成金をいただいたことで、参加者への配慮(テープ、みやげ【入浴剤】など)ができ、喜ばれた。 会員のミニ朗読会(交流会の中での朗読)出演希望者が多くなり、選ばれた会員も努力し、9年目の当会の朗読としてふさわしいものになった。
---------	---



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 多方面への案内の成果 市からの補助金をいただいたことにより、市広報・朝日新聞社を皮切りに、多摩ニュータウン地域情報誌「ホームタウン」、アサヒタウンズ、ショッパー、会員地元の情報誌等10数社の掲載が可能になった。又、多摩テレビの取材を受け、放映もされた。当日は八王子テレメディアの取材を受け、交流会の様子が放映されたり、当会を知ってもらう大きな力となった。 交流会 準備～当会～終了まで 5回目という節目の会で参加者80名。大勢ということで運営面での不安があったが、会員各々が各係(グループ)リーダーとの協力のもとに配慮をし、お客様から“楽しかった”の声と笑顔をいただき安堵した。毎年のことだが、駅(JR・京王八王子)から会場までのガイドを当会がすることで、視覚に障害のある方が気軽に参加できるようになってきているようだ。 交流会後の反響 会への感謝の言葉をたくさんいただいた。電話、お便り、メール等で。次年度は会発足10年。その交流会に向け、会員の団結と精進の気持ちが高まっている。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 広報活動に重点をおいたため
	その他、評価すべき点等	年1回の催しである七夕交流会も、5回目となると、覚えてくれる方もふえてきた。市からの助成金をいただけたことで、広報活動が活発化し、当会の存在を広くアピールできた。それが、会員にも好影響を与え、団結が更に強まった。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今回の目的(視覚に障害のある人が、外に出て、人と交流し、自立していける手助けになる交流会とすること。当会をより多くの人に知ってもらうこと。)は、昨年以上に達成できた。当会10年目にむけて、会員の気持ちも高まりを見せている。交流会が今後も定着していけるよう、今回を土台に更に快い時間を共有していきたいと考えている。</p>
---------	---

平成 1 9 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	荒廃竹林の整備と竹紙生産に関する研究及び啓発事業		
団体名	八王子住まいづくり市民塾		
事業費	100,540円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>前年度は、身近な荒廃した竹林を整備することにより植生、景観上の環境及び防犯上の悪化を防止出来ることを実感した。今年度は、竹林整備事業を発展させ、竹林を維持管理し温暖化抑制のためには竹林を間伐するだけでは意味がなく、積極的に利用することが必要と考え利用面として竹を原料とする和紙（竹紙）の製造に関する基礎的調査研究を開始した。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹紙生産に関する研究と竹紙の試作事業 ・ 市民を対象とした竹林整備体験及び「竹紙漉き」体験教室事業 ・ こどもを対象とした竹に親しむイベント事業 ・ 住宅と環境保全に関する調査と講演会等による市民啓発事業

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月に竹を発酵容器のドラム缶に浸漬し、11月、12月にかけて回収して粗繊維とした。今年度の試験により紙原料として使用可能な繊維の生産方法が概ね解明できた。 ・ 11月、「第41回くらしの見直し展」に参加し八王子竹紙を紹介した。このイベントで「竹紙漉き教室」を紹介し、12月11日、3名の参加で第1回紙漉き教室をNPO「結の会」の協力で実施した。当竹紙漉き教室は、好評につき2月以降も開催し多方面の利用者に接しており今後の活動に繋げたいと考えている。 また、12月には前倒しで壁紙貼り講習会を実施した。 ・ 11月、「いちよう祭りワクワク広場」に参加した。竹を使った物作りや遊びの機会を提供した。竹とんぼ作りは昨年同様子どもに人気があった。 ・ 6月、市民向けの啓発講座を実施した。地域の木材の活用と和紙壁紙の採用など、環境に留意した住まいづくりを実践した八王子在住の若い市民を講師に招いた。 ・ 年間を通して竹紙製造法の研究に取り組んだ。20年度に向け具体的な竹紙繊維の生産の目処がついた。
---------	---



竹紙漉き教室風景



竹から得られた竹繊維(繊維を微細化し紙にする)

様式9 (2枚目)

<p>・ 事業の成果・効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発酵法では1本のドラム缶から約4キ口の竹繊維が得られた。この収量は発酵による減量、アルカリ煮と水洗いによるロスを見込んだもの。竹繊維と楮の比率を、100%、50%、30%として紙を漉いたところ、いずれの比率でも壁紙として問題ないことがわかった。 ・ 第41回くらしの見直し展に参加し、八王子竹紙を紹介した。来場者から竹から紙ができることに大変興味を持たれた。とりわけ人生経験が豊富な市民は和紙に関心が高いことがわかった。 ・ 第1回紙漉き教室は「結の会」の協力で12月実施し以後2月、3月も毎月実施した。大変好評で、ユーザー開発のためにも引き続き実施予定。 ・ 竹紙の壁紙用途に関しては会員の新築住宅に採用してもらい、優れた内装材であることを確認した。また、活動拠点内に竹紙のモデルルーム(囲炉裏庵)を設置することができた。 ・ 11月に実施されたいちちょう祭りワクワク広場では竹を使った物づくりの体験は対象とした子どもだけでなく大人も求めていることがわかった。今後も続ける意義を感じた。 ・ 地域の木材の活用と和紙壁紙の採用など、環境と健康に留意した住まいづくりを実践した八王子市内在住の若い市民を講師に招いた。「材料の向こうにある世界を想像して欲しい」という言葉が印象的であった。 ・ 総括、18年度は、個人の荒廃した竹林を整備し持ち主の喜びが得られ、かつ山の植生、景観等の環境改善と防犯上近隣住民から感謝された。19年度は、若い竹から繊維を採取するために発酵物として取り込み、竹繊維化の研究を行った。今後当竹繊維を障害者の作業施設に提供することにより、高価な楮の購入量も減らせ喜んでもらえる。竹紙の一部は、「結の会」によりレターセットなどで「道の駅滝山」でも販売されている。購入された方々には、八王子竹紙を楽しんでもらえる機会が作れた。 ・ このように、私たちは、市民企画事業補助金による事業で、市民活動としての喜びと、関連する身近な市民の人々の喜びの笑顔に接することができ、今後の活動に弾みがついた。このことが我々としては一番の成果であり効果であったと感謝しています。
-----------------------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <u>できた</u> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <u>できた</u> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <u>多少の変更があった</u> 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>計画した竹林整備体験は竹繊維の生産の取り組みが忙しく実施できなかった。他方、繊維化については知見の蓄積ができた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>作業上で手間の掛る洗浄方法を活動サイト内に井戸水を利用した簡易洗浄装置を設置できた。また、会員が紙漉きと壁紙貼り技術を習得した。これらは今後の事業展開に役立つと思われる。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>年間20kg程度のパイロット生産の目処がついた。しかし、この規模は商業的ではない。年間100kgを想定すると、発酵後の竹を叩解する何らかの機械装置が必要となる。また、竹林としても現在のサイトの約3倍が必要となることがわかった。竹紙の販売はNPO法人結の会の事業であり、今後の販売計画と竹紙繊維生産とをリンクする事業計画を立案し、必要な生産体制を整備する必要がある。</p>
---------	---

平成 19 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書



事業名	市民参加型 援農活動による農業の活性化		
団体名	すずしろ 22		
事業費	232,493 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	<p>比較的に安価で質の高い人手を必要とする農家に 農業に参加する意欲の高い市民を紹介し 農作業の応援をつうじて 農業活性化に寄与する。</p> <p>農家の売上高アップ と 地域消費者に高品位の野菜を提供するという地産地消活動に参加する。 農地保全について農家を応援し 農地の有効活用を図るとともに この活動の延長線上にある 食料自給率・環境保全といった社会的な課題への取り組みにも配慮していく。</p>	
	内容	<p>(1) 援農ボランティア活動 人材需要について 農家と市民のコーディネート・マッチング</p> <p>(2) 地産地消活動 ボランティア先農家の野菜の直販に協力</p> <p>(3) 農地保全活動 遊休農地化の防止と耕作放棄地の再活用</p>	

事業の活動実績	<p>農業活性化の施策を下記三事項として それぞれの目標値を設定し 活動を展開しました。おかげさまで 目標をおおきく上回る実績をあげることができました。</p>		
	項目	目標値	実績値
	(1) 援農ボランティア活動	1700 時間	3152 時間
	(2) 地産地消活動	50 万円	153 万円
	(3) 農地保全活動	3 反歩	3 反歩
	<p>(1) 会員数が増加して 農家会員: 15 + 市民会員:105 人となり 昨年度よりワンランクスケールアップした体制が実現。突発作業依頼から 定常的 ないし 年間依頼計画提示のケースがでてきたことが新たな進展。市民会員の技術力向上・農家会員の拡大が 来年度への課題。</p> <p>(2) 農家会員の売上高増加に寄与したい 地域消費者に安全新鮮な野菜を提供したい との思いから野菜の直販にも努め 手ごたえ実感。地産地消のシンボリック的な取り組み事例である「学校給食への野菜食材提供」についても複数校と契約を結び 納品を開始。</p> <p>(3) 農地保全活動については きだまだ低調で 来年度に持ち越された課題。農家との信頼関係の構築 と 個人技術力の向上 と 機械力で装備された団体への変身に努めることが その対応策と分析。 「大地と 人と 地域を たがやす」 -</p>		



さつまいもの収穫



ミニレタスの定植作業



事業の成果・効果	<p>(1)八王子では農業支援の形態として三つのパターンが存在。 無償ボランティア 有償援農ボランティア [すずしろ 22] (パート)雇用 それぞれの方式の特徴が 農家から受け止められて それぞれ定着しつつあるものと 判断。</p> <p>(2)農家に潜在する人材ニーズは まだまだ 高い。謝礼方式として金銭だけでなく 「収穫物謝礼方式」を導入することも 農家の人材需要の開拓に有力な方式と判断。</p> <p>(3)地元農家の顔が見える 安全・新鮮な食材が 地域消費者から歓迎されていることを あらためて実感。「 良い食材は高値でも当然 」との反応もあり。</p> <p>(4)市内の複数小学校より 野菜提供の強い要望があり ボランティア先の農家野菜を納入。</p> <p>(5)人材と機械力の充実により 農地保全に寄与できる可能性が大幅に拡張されることを確認。</p> <p style="text-align: center;">「 種蒔きし 大地 鼓動を始めけり 」</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>通信費・交通費・印刷費が計画書より増加し 一方 ホームページ運用費の削減が実現</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食物資納入業者登録と さらなる複数校よりの納品依頼 ・市民活動協議会の一員として各種イベント参加 ・東京都実践農業セミナーでの会のPR ・雑誌社よりの取材活動

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。



今後の事業展開	<p>おかげさまで 20年度も 市民企画事業の[事業実施部門] で 引き続き 八王子市の支援をいただけることとなりました。 すずしろ 22 の 20年度計画の着実な遂行につとめます。</p> <p>活動の三本柱それぞれについて “ 事業性をより加味しての活動展海 ” に配慮していきます。</p> <p>権利・義務・責任体制について 更に レベルアップさせるべく NPO 組織づくりをめざします。</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育て学習会(リトルアブリコット)		
団体名	リトルアブリコット		
事業費	121,273 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	目的	核家族化が進んでいる現代、子育てをしている母親がこの学習会を通して、食への関心、知識を高め、また子育てのヒントを得て、心身共に健康的な家庭生活を営めるようにする。さらにこの場で出会えた母親同士の輪が広がり、南基感などを解消していく。
	内容	月1回 みなみ野子ども家庭支援センターに於いて0~3才前後の子を持つ母親対象に学習会を開催。「食育・子育て」の2つのテーマで話し合う。

事業の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回「みなみ野子ども家庭支援センター」に於ける学習会 ・平成19年10月より「夢キッズ」に於ける学習会をスタート ・講演会「人間関係をスムーズにするための接し方」 於：学園都市センター会議室 講師：佐藤創起氏 参加者：18名 ・ニュースレター(月1回)発行 (クッキング、生活のヒント、ママたちの声など) ・平成19年12月 フリーダイアル開設
-------	--



事業の成果・効果	<p>子育て面では、 出席者と話し合うことで、その時に直面している悩みが自分だけではないことを感じることができ、安心感を生んでいる。特に「みなみ野」では、2時間子と離れ自分のための時間を持つことがリフレッシュになっている。</p> <p>食育面では 学習していくことで「家庭の食事」を改めて見直し改善していこうという意欲が生まれ、さらに安全な食品の選択の知識なども得て食習慣を変える機会になっている。</p> <p>・フリーダイアルを「学習会参加申し込み」用として開設したのだが、申し込み以外の声も聞くことができ、お互いの距離を縮めるのに役立っている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) 並木町の「いれあいスペース」が参加者を確保することが困難になり、代替したこと。
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>・出張学習会を実現できるよう検討していく。</p>
---------	------------------------------

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	英語劇を通して学ぶ多文化理解事業		
団体名	アクティヴライン・八王子		
事業費	375,225 円	補助金額	187,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>イギリスの英語教育劇団「ホワイトホースシアター」による英語劇公演。 劇を通してそのテーマを共有し、市民に多文化理解・多文化共生の意識を啓発し、互いに考えその視野を広げていくこと。</p>
	<p>内容</p> <p>イギリス人俳優による英語劇“Billy's Friend”を通して、固定観念を取り除いて異なる文化の人(この劇の場合は、ピリーの友達であるゴリラ)を受け入れることの難しさと大切さを知る、と同時に、外国語を学ぶ楽しさを感じとってもらう。</p>

事業の活動実績	<p>2007年9月8日(土)7:00PM~8:30PM</p> <p>いちょうホール、小ホールにおいて開催 入場者数 175名</p>
	<p>* 広報関係：各印刷数</p> <p>ポスター 200枚</p> <p>チラシ 2,000枚</p> <p>チケット 300枚</p> <p>* 配布先：ホワイトホースシアタージャパン事務所、八王子市内公立小・中学校 八王子市役所、市内各公共施設、八王子国際交流団体連絡会 アクティヴラインメンバーを通して一般市民に配布、周知を行った。</p> <p>* 広報活動：広報「はちおうじ」、八王子市のホームページに掲載依頼 タウン誌「ショッパー」に掲載依頼。</p> <p>* チケット販売方法：メンバー2名を連絡先として特定し、予約を受け付け、当日、受付で、現金と引き換える。チケット受付期間は7月上旬から公演日当日までの2ヶ月間。189枚販売。</p>



事業の成果・効果	<p>入場者数 175名 (定員 288名) アンケート回収 101名</p> <p>* 定員の61%の入場者数ではあったが、一般市民のほかに現在英語を習っている児童・生徒とその保護者が多数を占め、初級レベルの英語学習者たちにも十分楽しんで頂けたと思う。回収したアンケート結果からも、英語がよくわからなくても演劇を通して、内容は大体理解できたようで、「これを機会にもっと英語を学びたい」「外国の人や外国のことを知りたい」「次回も是非、見たい」という声が多数聞かれた。ホワイトホースシアターの演劇をこれからも定期的に見たいという多くの感想があったが、それ以外にも、八王子市内の小学校から早速、「生徒達に異なる文化を体験させる機会を設けて欲しい」という要請があった。12月9日、恩方第一小学校のPTA活動に協力する予定である。</p> <p>アクティヴライン八王子は、これまでも小学校の国際理解教育に協力し、数々の学校を訪問してきている。この公演の主催を契機に、さらに多くの方たちにアクティヴラインの活動を知って頂き、地域の中で異なる言語や文化を持った人たちがより住みやすい環境が整えられるよう願っているが、設立10周年にあたり、その新たな一歩となった。</p> <p>* 交流会 劇終了後、観客から(特に子どもたち)役者たちの経験や日本のこと、シェークスピア劇の中から好きなもの、ヨーロッパと日本の観客の違いなど多くの質問が出て役者との交流も楽しむことができた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>事業収入は入場者数が少なかったため、計画より減少した。</p>
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今後も、アクティヴライン八王子は設立当初の目的を実現化するため、多文化理解・多文化共生のためのイベントや事業を推進し、展開していく方針に変わりはない。ホワイトホースシアタージャパンが今後も日本公演を企画するようであれば、八王子地域での主催も引き続き視野に入れていきたい。</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	デイジー図書作製		
団体名	八王子朗読の会“灯”		
事業費	206,750 円	補助金額	103,000 円

事業の目的・内容	目的	視覚障害者のための録音図書であるデイジー図書(CD)の作成。
	内容	現在機器を会員の負担で購入しデイジー図書を作成しているが、パソコンの普及により今後急増するデイジー図書のニーズには対応しきれない。深刻な機器不足を解消する。

事業の実績	<p>…… デイジー図書の作成実績は、 [活動延べ人数252名 CD 31タイトル38枚作成。]。 次年度は 購入した機器、ソフトを活用して、16名のメンバーを20名以上にし、更なるニーズに敏速に対応えられるようにしていきたい。具体的には月2回の例会において 初心者講習を開き参加者を募り、すでに数名の参加が見込めるのでこの機器購入は 大きな前進の一步となった。</p>
-------	---



事業の成果・効果	<p>今まで主流であったテープからCDへの移行は一朝一夕には出来ない。昨年度はパソコンにダイレクト録音できるメンバーが少なかつたため、まずテープ録音して、校正(2回)を行い更にCD化して校正を行うなど、時間・人員ともにロスの多い方法をとらざるを得なかつた。ダイレクト録音ができるメンバーが増えてゆくことで、視覚障害者のニーズに敏速に対応できるようになることは大変うれしいことである。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p><input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p><input checked="" type="radio"/> ① できた ② 概ねできた ③ あまりできなかった ④ ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ ② 多少の変更があった ③ 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>助成金の交付を受け、更に活動を活性化させるべく、機材購入費のり、ソフト購入の枠を広げた。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>今まで30年に及び、全く無償で活動を続けできた“灯”に、大きな励みとなりました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>マイナー図書作成のための講習会を定期的に開き、新しい人材を開拓する。</p>
---------	---

平成19年度 市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	学校図書館999(キューキューキュー)!!		
団体名	八王子に学校図書館を育てる会		
事業費	292,160円	補助金額	146,000円

事業の目的・内容	<p>目的 活動5年目に入り少しずつ自立の道も開けてきたこともあり、本年度は従来の講座一般を補助事業からはずし、ひとりでも多くの市民と『生涯学習の入り口としての学校図書館』について考えるきっかけを作ることを目的とした。</p>
	<p>内容 今年度は一般の方の参加を増やす内容(講演会と写真展)を考え、またわれわれの活動の主旨をより理解してもらえるよう、会の活動趣旨をPRするリーフレット作成、年二回の会報紙、また学校図書館ボランティアがすぐに役立つ手引き書の発行など印刷物にも力を入れた。</p>

事業の活動実績	<p> 本会活動PRリーフレット完成(6月末・1000部印刷) 『学校図書館999!! 学校図書館の手引き』完成(10月13日・100部) 一般向け広報紙『学校図書館 Take Off!』発行 (10月1日付・1000部印刷/3月1日付1500部) 集会『実感・共感・学校図書館』 (10月14日 八王子労政会館...参加26名、寸劇により実際の学校図書館の様子を紹介、その後講師の講演) 写真とビデオの会『子どもたちの学びと学校図書館』 (2月26日 生涯学習センター川口分館視聴覚室...参加8名 2月29日 生涯学習センター南大沢分館視聴覚室...参加9名) </p> <p>リーフレットは、本会活動ごとに参加者へ配布(補助金事業以外でのべ200名以上の参加者あり)。手引きはその都度販売に努め75冊ほどが販売あるいは予約注文を受けた。広報紙も同様に参加者へ配るほか図書館や市民センターなどに置かせてもらい、市立小・中学校へも配布した。</p>
---------	---



手作りの手引き書



集会後半、講師のお話を聞く。

事業の成果・効果	<p>平成 19 年度事業は、一般市民へ関心を持ってもらうことを中心に考えた。リーフレットや広報紙は、この意味で効果的だったと感じている。実際これらの配布物を見て入会した会員もいる。補助金事業以外で行っている交流会や講座の参加者の反応は単に「ボランティアとして何が出来るか」から一歩踏み出して「学校図書館が本来の姿、子どもたちの学習に活用されるためにどうすればよいか」と、積極的に関わろうという姿勢の方が増えてきている。そういう方たちにとって『手引き書』もよりどころとなり活用されているのではないか。</p> <p>今年度の事業名『学校図書館 999!!』は注目してもらうためのネーミングであったが、一般人にとってわかりにくく、関心も持ちにくいテーマであることが実感できた一年でもあった。集会や写真展は参加者からの感想は「よかった!」というものが多かったが、チラシや市報掲載・ショッパーや朝日タウンズといったメディア利用でもなかなか周知・集客ができず、地道に根気よく続けていくほかないようである。広報紙を引き続き発行・配布しながら私たちの活動を知ってもらう努力を続けたい。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4 と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3 と答えた場合のみ) 手引書は 100 冊全てを手作り製本とした、その労力に対して予定外の謝礼を計上した。また、集会では講師の好意により講師料を抑えて寸劇キャストのメンバーに謝礼を払うことができた。印刷物が多く、校正やためし刷りなどでインク代や印刷・紙代がかさんでしまった。
	その他、評価すべき点等	補助金事業以外の面でも図書館や指導室と連絡を取り合うことができよかった。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>今年度設定した賛助会員への問い合わせもあり、次年度以降もひきつづき学校図書館の充実を共に考える仲間を増やす活動を行いたい。会場費やチラシの紙代・印刷代を考えるとまだまだ補助金なしでの活動は厳しく、また『市民企画事業』であるというブランドも捨てがたいものである。</p> <p>一層の自立運営につとめつつ、手引書を一歩進めて HP などによる情報発信が出来るようになりたいと考えている。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子大江戸舞祭2007 八王子合同合宿		
団体名	八王子大江戸舞祭実行委員会		
事業費	1,065,137円	補助金額	500,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>隣人関係が希薄化した地域社会において、大江戸ダンスで縁を結び、絆を深め、心豊かな交流を目指す。併せてこの活動が「心の東京革命」の実践モデルとして提案されており、活動を通じて「生きてゆくうえで当然のルール」を伝え、子どもと共に、学びあいの心を育てる。</p>
	<p>内容</p> <p>合同合宿・高尾の森わくわくビレッジの施設を使い、大江戸ダンスの練習を通じて交流を図り、寝食を共にした集団生活の中でルールを守り、体験的な学習をしてゆく。</p> <p>大江戸舞祭・富士森陸上競技場を会場にして、チーム同士、日頃の練習の成果を発表し合う。審査コーナーを設け、健闘を讃えあう。</p>

事業の活動実績	<p>八王子合同合宿</p> <p>5月5日(土)～6日(日) 高尾の森わくわくビレッジにおいて参加チーム7チーム120名で実施した。(小中生79名 高大生4名 大人37名)大江戸ダンスの練習の他、夜は、パーカッションのウィンチェスターニテテさん(ガーナ出身)の率いる楽団による本場の打楽器演奏を楽しんだ。さらに懸案の大江戸ダンス八王子バージョン「夕焼け小やけ八王子」の振付けが石川由佳さんと相原磨衣さんの手によって完成し、練習の後レッスンビデオの収録が行われた。</p> <p>八王子大江戸舞祭</p> <p>7月15日(日)第4回目を富士森陸上競技場で実施の予定が台風4号の直撃で延期せざるを得なくなってしまう。雨天会場として、近くの都立八王子養護学校の体育館をお借りし、学校当局とも机上シミュレーションまで行い、万全を期してきたが、遠方から来場する子どもたちの安全を考慮し、この日は中止にした。協議の結果10月27日(土)再開催することになった。早速、チラシ、パンフレットの修正・再発注・資金確保の活動をスタートさせた。実行委員の知恵で1口千円の協賛者募集では70名もの応募があり、活動に弾みがあった。10月27日まさかの雨天となり、八王子市立第五中学校体育館で実施した。8チーム180名・ボランティアスタッフ40名 総勢220名の集う八王子大江戸舞祭が実施できた。</p> <p>参加連 天下一(青梅市) 杉風(調布市) がんばるチーム(東久留米市) プチベリーズ(青梅市) かっつけねえ S(葛飾区) 八王子五中ダンス部(八王子市) ドリームエンジェルズ(八王子市) スパイダーシルク翔舞(八王子市)</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>八王子合同合宿 高尾の森わくわくビレッジを会場にした合同合宿は今年で3回目になる。参加者は少しずつ変わってはいるが、大江戸ダンス公式行事として定着してきた。毎年練習の後は公演会で慰労と思い出作りを行っている。寝食を共にした共同生活では学ばなければならない大切なことがたくさんある。大江戸ダンスでは今年目標に「あいさつと返事は一対一、人を傷つける言葉は使わない」を掲げ実施している。合宿はこういった基本的なマナーの習得の場であり、折に触れて伝えた。練習終了後は、八王子新曲の振付けのビデオ収録が行われた。過去3回の八王子大江戸舞祭のダイジェスト版を加え、レッスンビデオとして八王子市内小中学校 107 校に配布した。さらに、八王子市教育委員会にお願いして、教育長からのメッセージをこのビデオに添えることが出来た。</p> <p>八王子大江戸舞祭 2007 秋雨の降り続ける肌寒い一日となってしまったが、体育館の中は大江戸ダンスを踊る子どもたちの熱気が溢れていた。限られたスペースでの実施だったが、お互いに顔の見える距離での発表は、緊張感を生み、考えていた以上に内容の濃い舞祭が実施できた。急遽変更したタイムテーブルも何の問題もなく進行できた。雨天にもかかわらず、来賓・審査員の皆様には最後まで子どもたちに声援を贈っていただいた。八王子大江戸舞祭を最後に退部予定の中三は、延期によって出場を断念せざるを得なかった、と聞いた。秋口に延期したことでの影響は様々なところに在ったようだ。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 台風により延期になった為、チラシ・パンフレットの再発行、傷害保険再契約、案内状の再発送等を余儀なくされた。
	その他、評価すべき点等	八王子大江戸舞祭は唯一陸上競技場を会場としている。継続する中で定着がはかれ、広々とした会場での舞祭が特色になりつつある。念願の大江戸ダンス八王子バージョンが完成し、市内小中学校 107 校に無料でレッスンビデオを配布できた。 1 口千円の協賛者を募った。初めての試みだったが 75 名もの応募者を得ることが出来た。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>平成 23 年 4 月からは中学校の授業に「武道とダンス」が必修となる。大江戸ダンス「夕焼け小やけ八王子」を普及させるために、先生を対象にした「講習会」の開催を進めたい。学校で大江戸ダンスを覚えた子どもたちをいかにして富士森会場に連れ出させるか、次の戦略となる。八王子の子どもたちの手で作り上げる、八王子大江戸舞祭の実現が大きな目標である。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	夢あるまちづくり		
団体名	夢あるまちづくり協議会		
事業費	865,137円	補助金額	415,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>昨今の高齢化・少子化現象や防犯上の不安な現状、及び地域の活性化が求められている現状に鑑み、学識経験者を交えて地域づくりの学習会及び意見交換会を開催。またアンケート調査を実施し、地域の方々から地域の問題点・今後の希望、理想について多数の意見を頂戴した。</p> <p>そこで寄せられた提言を実現し、住民間の幅広い交流を行いながら市民活動の活性化をはかる組織的活動が必要であると考え、本協議会を設立した。現在、鹿島地区連絡協議会、松が谷連絡協議会から専門委員の派遣を受け、本協議会の活動に賛同を得ており、また両連絡協議会の長期的課題に関する活動を積極的に支援している。</p> <p>本協議会は地域に根ざした活動を目的とし、本協議会事業への広範囲な、また継続的な地域住民『参加』を促進するための企画運営と広報活動を積極的におこなうこととした。</p>
	<p>内容</p> <p>地域住民の安全と住み良いまちづくり実現のため、下記テーマ毎に各種企画を作成ならびに実施するとともに、当該地域住民(約3,000世帯)に対し本協議会活動を周知するための広報活動を行う。</p> <p>安全、安心なまちづくり</p> <p>防犯マップ作成、防災キャンプ、危険情報交換</p> <p>生涯学習で生き生きしたまちづくり</p> <p>サークル活動エリアの開発・支援、サークル交流、学校教育との連携</p> <p>知恵をあつめて魅力あるまちづくり</p> <p>商店街活性化(朝市)、循環型環境作り(リサイクル学習会)、各種イベント企画実施</p> <p>心ふれあうまちづくり</p> <p>世代間交流の機会と場の提供、高齢者・子育て世代のたまり場・居場所づくり(施設の有効活用)、各種イベント支援</p>

事業の活動実績	<p>本年度の事業は、多少の時期的なずれはあったが、予定通りに実施できた。</p> <p>具体的な事業実施内容は以下の通り。</p> <p>自主開催の事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ライトアップお花見開催(4、3月) ・朝市開催(5、10、3月) ・みどりの学校開催(6月) ・防犯マップ作成(8月) ・縁日(9月) ・カラオケサークル開催(2回/月、及びカラオケ発表会(11月)) ・広報紙発行(7、2月) ・DH 大学三者協議会住民事務局(1回/月) ・歩こう会開催(4、11月) ・男の料理教室開催(6、7、10、3月) ・蛍を見る会開催(7月) ・防災キャンプ&フォーラム開催(9月) ・バードウォッチングの会(3月) <p>他団体開催事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿島・松が谷両納涼祭参加・運営協力(7月) ・鹿島・松が谷こどもまつり参加・運営協力(11月) ・鹿島地区連絡協議会防災訓練協力(11月) ・由木東市民センター祭り(2月)
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>前年度までの2年間は八王子市市民企画事業補助金交付を受け広報活動に主眼を置いた活動を行ってきたが、本年度は事業部門補助金交付により「補助金を地域に還元できる取り組みを！」を目標に諸活動を行ってきた。</p> <p>参加者の半数以上が会員以外であった事業もあるなど活動実績を通して地域の皆様から本協議会活動を評価して頂けたと考えており、当初の目的は十分に達成できたと考えている。</p> <p>地域のネットワークづくりに関する取り組みとして本年度に開催した防災フォーラムでは、災害時の自治会・管理組合の連携も視野に入れた問題提起を行った他、地域包括支援センターとの交流を通して同支援センターを地域住民組織で紹介するなど、地域の皆様、地域住民組織相互間の連携に大きな役割を果たすことが出来た。</p> <p>本年度も鹿島地区連絡協議会、松が谷連連絡協議会から専門委員を派遣していただき、積極的な意見交換を通じて良好な協力関係を維持できており、デジタルハリウッド大学三者協議会住民事務局としても継続した活動を行った。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>①できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>①ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>広範囲な事業計画であったが、企画が多数あったことが会員及び住民各位の関心持続につながっていると思う。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>平成20年度も八王子市市民企画事業補助金(事業実施部門)交付を受け、更なる資材や人財を確保するとともに、より多くの住民間の交流と親睦を促進し、豊かで安全なまちづくりに貢献する活動を行う。</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子健康生きがいフェスティバル		
団体名	多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会		
事業費	153,486円	補助金額	71,000円

事業の目的・内容	<p>目的 この事業の目的は認知症の予防と高齢者の安全・安心、健康寿命の延伸です。具体的には 今回の事業の中心とも言える劇では高齢者の避けて通れない認知症のありようを笑いと涙更には感動を通して気づいてもらい 腹話術『注意してね振り込め詐欺』と講演『ストップ・ザ・悪徳商法』で悪徳商法から身を守る術と心構えを学び のコンサートで心豊かに安らぎの時間を共有し参加者全員が一体となって歌い上げて結びます。</p>
	<p>内容 第1部 劇「ぼけちゃいけんよ」及び腹話術「注意してね振り込め詐欺」 公演：山梨生きいき劇団（山梨県知事賞を受賞） 第2部 講演「ストップ・ザ・悪徳商法」 講師：多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会副会長 小川渚 第3部 マンドリン演奏と合唱 出演：八王子マンドリンプリムローズ</p>

事業の実績	<p>フェスティバルの当日は雷鳴と強雨という最悪の天候に見舞われました。果たしてお客様は来ていただけるのか？最悪のケースも頭を掠めましたが時間になるとずぶぬれになって81名（男性42名、女性39名）の方々にご来場いただきました。</p> <p>予定通り14：00に開演し 第1部 劇「ぼけちゃいけんよ」及び腹話術「注意してね振り込め詐欺」 第2部 講演「ストップ・ザ・悪徳商法」 第3部 マンドリン演奏と合唱と滞りなく進行し会場はあふれんばかりの熱気に包まれ最高の盛り上がりのうちに16：40過ぎに無事閉演の運びとなりました。</p> <p>終了後のアンケートは60%を超える49名（男性24名、女性25名）より頂きましたが大変良かったという評価が大半であったことは主催者として苦労が報われた思いです。</p> <p>なお、アンケート結果の詳細については次項「事業の成果・効果」に譲ります。</p> <p>事業収支決算面で見ると今回の事業は収入面で入場料・資料代収入が計画45,000円に対し実績は22,200円と22,800円の不足に終わったことと支出も計画143,800円に対し153,486円と9,686円の予算オーバー（要因は準備のために会場を午前中から借りたための会場使用料が15,900円の超過）となり、当会からの充当金が27,800円から60,286円と見込みより32,486円の持ち出し超過となり当会の財政を圧迫する結果となったことは雷雨に見舞われるという不運を考慮しても反省すべきものと思われまます。</p>
-------	---



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	1. 事業の成果についてはアンケート結果が如実に物語っていると思われます。																				
	1) アンケートの回収は49件60.5%と高率でした。																				
	2) 参加の動機は劇認知症予防劇、振り込め詐欺腹話術、講座「ストップ・ザ・悪徳商法」、マンドリンコンサートの順に関心度が強くなっていましたがアンケート結果では次の通りでした。																				
	<table border="0"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">大変良かった</td> <td style="text-align: center;">良かった</td> <td style="text-align: center;">普通又はまあまあ</td> </tr> <tr> <td>認知症予防啓発劇</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">12</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>腹話術</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> <tr> <td>講座「悪徳商法」</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">11</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>マンドリン&合唱</td> <td style="text-align: center;">31</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td></td> </tr> </table>		大変良かった	良かった	普通又はまあまあ	認知症予防啓発劇	36	12	1	腹話術	26	15	5	講座「悪徳商法」	31	11	2	マンドリン&合唱	31	9	
		大変良かった	良かった	普通又はまあまあ																	
	認知症予防啓発劇	36	12	1																	
	腹話術	26	15	5																	
	講座「悪徳商法」	31	11	2																	
	マンドリン&合唱	31	9																		
	3) 主なコメントや意見を紹介します																				
劇は講義より説得力があった。																					
講座はテンポよく飽きさせないお話でした。																					
関連資料も参考になりありがとうございます。良くこんな企画をされたと感心します。																					
大変良かったです。これからもいろいろなことで何回も聞いてほしいと思います。																					
2. 最悪の天候にもかかわらず参加者全員が天候のことを忘れ、劇や講座に溶け込み盛り上がり一体感を醸す様子が看取されたのは大変喜ばしい限りです。																					
3. この事業の目的である「認知症の予防」「高齢者の安全・安心」「健康寿命の延伸」の直接的な効果を計るのは難しいが参加者の安心感と心構えに何らかの影響を与えることができたのではないかと考えています。																					

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input type="checkbox"/> 1 できた <input type="checkbox"/> 2 概ねできた <input type="checkbox"/> 3 あまりできなかった <input type="checkbox"/> 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input type="checkbox"/> 1 できた <input type="checkbox"/> 2 概ねできた <input type="checkbox"/> 3 あまりできなかった <input type="checkbox"/> 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input type="checkbox"/> 1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった <input type="checkbox"/> 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 認知症啓発劇の事前準備に時間的な余裕が必要なことがわかりホールの借用時間を長くしたため会場使用料が15,800円超過支出となった。
	その他、評価すべき点等	最悪の天候にもかかわらず一定の集客ができたこと アンケート結果にもあるように参加者からこの事業に対して最大限の賛辞や評価を頂いたこと

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

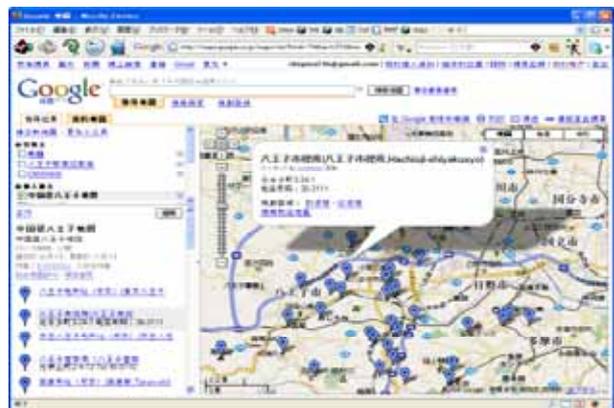
今後の事業展開	自主財源の確保が課題であるが可能な限り今回のような健康生きがいフェスティバル事業を継続的に企画し実施していきたい。 特に、健康寿命の延伸という観点から介護予防や生きがいに関する啓発事業を取り上げていきたい。
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	外国人のデジタルデバイス解消のための相談会		
団体名	情報ボランティアの会(八王子)		
事業費	1,412,431円	補助金額	706,000円

事業の目的・内容	<p>目的 八王子市には、中国人、韓国人・朝鮮人、フィリピン人を始めとして、合計 8028 人の外国人の登録がされており、実数はこれより多い。しかし、市のホームページには英語、中国語、韓国語のみのページが存在し、それもそれぞれ 10 ページ程度の情報提供であり、更新頻度は極めて低い。以上より、彼ら外国人にとって、日本語を解釈できる市民との地域情報の格差は歴然としている。会の実績を踏まえて、今回の申請では、八王子市内の外国人留学生や八王子にある国際交流のボランティア団体と連携して、八王子市と近隣の地域に密着した情報を八王子近隣に在住の外国人に着実に届け、彼らが豊かな地域生活できるよう支援することを目的とする。</p>
	<p>内容 具体的な内容は、リアルの場合でのパソコン何でも相談会およびパソコンの学習会、必要な情報の検索である。バーチャルの場合では、ホームページを用いた八王子固有の情報発信および、八王子のスポットをインターネット地図にして世界に向けた情報発信を実施した。さらに、八王子の国際交流団体に認定され、団体間の連絡用にメーリングリストを設置して、管理・運用および啓蒙活動を実施した。</p>

事業の活動実績	<p>0. 外国人向けの何でも相談会のチラシを作成し、各所に配布した。</p> <p>1. 外国人のための何でも相談会を実施し、各外国語と日本語ができる留学生を中心としたボランティア通訳を介して、外国人の様々な問題や疑問を解消する。7月より月2回、午前・午後を実施した。</p> <p>2. 外国人の学習者に対してパソコンの個別講習を随時実施した。</p> <p>3. パソコンなどの情報機器に関するアドバイスや講習を実施した。</p> <p>4. メーリングリストを作成し、関係団体の情報交換をした。</p> <p>5. 各国語対応した八王子のインターネット地図を作成して、情報発信する。</p> <p>6. ホームページを設置して八王子固有の情報発信をした。</p> <p>7. 八王子の大学に宛てて、外国人ボランティアの募集を実施した。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>1. 外国人の豊かな情報生活 相談会での対応やホームページなどで情報発信される、八王子の固有情報(中国語、英語、スペイン語)を通じて、八王子とその近隣に住む外国人は必要とする情報を着実に得ることができ、彼らのデジタルデバイド解消に大いに役立つ。</p> <p>2. コミュニティの形成 会としてはメーリングリストを運用し、外国人の支援を実施している国際交流団体のIT化に貢献し、この「場」を通じたボランティア団体間のコミュニティづくり・ネットワークづくりをさらに円滑にした。</p> <p>3. リーダー養成 このボランティア活動を通じて、中国人、韓国人、モンゴル人、ペルー人などの外国人留学生の中から地域情報にも通じたリーダー的あるいはキーマン的な人材が出現し、実際、中国人とペルー人は今年度の主たる活動に多いに貢献した。</p> <p>4. 外国人留学生の生活支援 通訳ボランティアを担当する留学生の多くは私費であるため、経済的に非常に苦しい。彼らは、プロではないが母国語と日本語の通訳ができ、所属する大学の学部の専門性においても非常に優秀で、母国において将来の指導者的な立場となる人材である。そこで、彼らにボランティアの対価として、薄謝を支払し、多少の生活費の支援を行うことにより、八王子や日本に対して親近感を持ち、八王子に対する理解を深めた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ) 相談者への告知が難しく、相談者の参加が期待したほどではなかった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	八王子の国際交流団体のメーリングリストの設置・運営・管理および、参加者への啓蒙活動を実施した。また、八王子市の小学校用のポルトガルの公文書を作成した。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>平成20年度も引き続き、活動のPRを積極的に実施し、何でも相談会およびパソコンの講習会を実施し、デジタルデバイドである外国人に対して積極的に支援していく。</p> <p>同時に、市内の外国人留学生に呼びかけて、サポートボランティアへの協力を得る。</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	滝山城跡ガイドブックの出版		
団体名	滝山城跡群・自然と歴史を守る会		
事業費	92,273円	補助金額	300,000円

事業の目的・内容	<p>目的 ハ王守には、13もの貴重な中世城郭が残り残っている。特に加住地域には、屈指の滝山城跡、高月城跡、根小屋城跡がある。しかし残念なことにその歴史・文化的価値については、十分には知られていない。小田原城について重要な位置を占めていた滝山城跡群を、書物の上でみれば現代に甦らせることを通じて、地域全体の活性化に貢献することを目指す。</p>
	<p>内容 昨秋がえる滝山城一戦国の風雲を分けぬけに天下の名城一付城攻めコースの出版(滝山城跡群・自然と歴史を守る会編、中田正光著、B5版、80ページ)。本戦一戦国時代関係で活躍した武将にふさわしい関連での先条氏並びに氏照の位置づけ。本二部一よみがえる滝山三城、滝山城、高月城、根小屋城の迫力ある縄張り図、鳥瞰図が数多く挿入され大変に理解し易くしている。</p>

事業の実績	<p>過去3年間程の講演会、歴史シンポジウム、現地での歴史体験講座などの集大成として、初め「滝山城跡ガイドブック」を出版した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・17年4月「滝山城跡ハイキングマップ」の刊行(3,000部) ・4月29日 道の駅ハ王守滝山発、滝山城散策ツアー、ガイドボランティア ・6月24日 道の駅ハ王守滝山オープン記念シンポジウム(滝山城と武田信玄) ・9月11日 鉾形城見学会 ・10月10日 加住地区法人会「滝山城講演会」の支援 ・10月26日 小田原城・山中城見学会 ・11月13日 加住中学校「総合学習」(滝山城)のガイドボランティア ・11月18-19日 浮福寺城研修会 ・11月23日 滝山城自然体験講座、ガイドボランティア ・12月2日 「よみがえる滝山城」出版記念シンポジウム(先条の城を掘り甦らせる先条流兼城術)
-------	--



事業の成果・効果	<p>← 滝山城ガイドブック、『よみがえる滝山城』のお版に際しては戦国の名城、滝山城を日本全土に紹介するとの思いで、全てのチャンスと最大限に活用させていただいた。</p> <p>＜4月の東京都初の道の駅八王町滝山のオープン時に際して＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 『はちとび』創刊号「道の駅特集」では、会並びに会報「滝山城跡ハイキングマップ」を紹介。『よみがえる滝山城』と一対のものとして活用している。 『歴史読本』5月号「戦国の城を歩く」では大きく滝山城が紹介され、補を受けて歴史シンポジウム「滝山城と武田信玄」を開催。『歴史読本』9月号では、ニコースとしてシンポジウムの白巻が紹介された。 <p>＜11月、『よみがえる滝山城』刊行、12月お版記念シンポジウム時に際して＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 『はちとび』3号では、特集「八王町の城跡」で中世城跡に光が当てられ、そうした中で『よみがえる滝山城』が刊行された。ガイドブックは『歴史読本』通信でも紹介。 ガイドブック並びにお版記念シンポジウムは各紙で広くとりあげられた。東京新聞(1/17)、朝日新聞(1/30)、読売新聞(1/13)、アサヒウズ、ゾックパー 「虹の会」は八王町市内の公立小中学校^{への}贈本図書に選定された。
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた <input checked="" type="radio"/> 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	出版3ヶ月にして再版の予定である。出版後の多方面からの反響を通じて、この種の中世城郭ガイドブックが待望されていたという事を再認識している。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 滝山城跡ガイドブック、『よみがえる滝山城』を最大限に活用しつつ、ガイドボランティア等の多様な企画を推進する。 滝山城跡中の遺構景観の回復作業を更に充実・拡大していく。 都立滝山公園内の「未開園地」の開園、更には、発掘・復原に向けての各種提言を積極的に行っていく。
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	3世代交流広場事業		
団体名	おおきに		
事業費	1,535,277円	補助金額	767,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>今、地域コミュニティが崩壊し、世代間の繋がりが切れていると言われていています。確かに毎日毎日信じられない出来事が報じられ、私たちのまわりで何が起ころうともふしぎではない状況にあります。今更のように人と人の繋がりの大切さを痛感します。子どもたちが心豊かに育つことのできるまちづくりをめざして、多くのおとなたちが手をつなぎ、活動できる機会を作るためにこの事業を企画しました。子どもにとっての居場所であり、おとなにとっても居場所であります。</p>
	<p>内容</p> <p>乳幼児の親子や小・中・高・大学生、高齢者、団塊世代など、男女を問わずだれもが気軽に集える会場を提供します。季節にちなんだテーマに沿って、それぞれが技や知識を子どもたちに提供したり、自らが体験するなど異世代交流を行います。年間を通して、月、水、金曜日に参加自由な「広場」の開催と、年に3～5回程度語り部や職人を招いた「集い」を開催します。「広場」では絵本の提供や小中学生の学習支援も進める。</p>

事業の活動実績	<p>広場の名前は0歳から100歳以上の人誰でも集えるように「スペース0 100」とした。月・水・金曜日の11時から5時までを基本としたが、市民の動向に合わせ、ほぼ毎回夕方6時から7時ごろまで開設した。139日(1047.5時間)のべ約1,300人が集った。(スペース0 100としては、他の事業を含めると0歳～高齢者まで2,000人以上の人々が集った。)</p> <p>午前からは乳幼児の親子が集い、親子で工作を楽しんだ。子育て中のお母さんたちの交流の場となった。また、午後からは主婦や小中学生、時間がある高校生など集まり、思い思いに時間を過ごした。</p> <p>中には病院の待ち時間をここで過ごす親子や一品持ち寄りのパーティを開くなどの交流の場としての利用もあった。</p> <p>かご作り(荷物ひもで作る)、竹細工やわら細工など日ごろなかなかできない体験ができ、物づくりのおもしろさや大切を学んだ。その他、薬膳お粥や人形劇団主宰からの講演や写真展など広くいろいろな人々にアピールする事業を展開した。</p> <p>ボランティアを希望する方々には体験の場として、イベント(忍者修行)に使う巻物づくりや高校生の奉仕時間に提供する品づくり、市に提供するおもてなしの「黄色いりボン」作成などを手伝ってもらった。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>はじめの頃はなかなか人が集まらなかったが、少しずつ名も知れて、今では気軽に足を運んでくれる人も増え、交流広場となっています。しかし、まだまだ子育て中の親子が中心で、なかなか高齢者の方々には多く参加してもらえていませんが、地域の老人会や町会にも声をかけているので、覗きに来られる方もあり、地域に受け入れられはじめたと思います。サービスの散歩の休憩によりたいとの相談も受けるなど、地域の交流広場として、育ちつつあると感じます。</p> <p>ボランティアを希望する人がいてもなかなか気軽に日常的にできる場所がないのが現状です。ここでは常に受け入れできる体制にあり、はじめの一步としては良い効果を上げていると思います。</p> <p>また、高校生が小学生の学習支援を行うなど、学校などでは味わえない、異年齢の交流が出来つつあります。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>スタッフの交通費が小額なため、予定日数を超えて開設したにもかかわらず、したまわった。印刷費は所有の印刷機利用や他団体に無料借用したり、材料はなるべく安価なものを求め、節約に務めたため、予算より少ない支出となった。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>ボランティア希望者に日常的なボランティアの場を提供できた。 高校生の奉仕や市のおもてなしリボンなど、地域貢献を果たした。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>ここを拠点に子育て中のママたちには「子育てマップ」作成に参加してもらい、自らが行動する楽しさを知ってもらおうと思います。また、地域の高齢者の方々にはまずは足を運んでいただけるような行事をおこなったり、それぞれの特技を子どもたちとの交流に活かせる工夫をしたいと思います。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「夏休み親子日本語教室」		
団体名	特定非営利活動法人 全国日本語教師会		
事業費	500,601円	補助金額	250,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>本事業の大きな目的は、日本人と外国人が短期間でも集中的に交流する場を設けることにより、互いが理解し認め合う絶好の機会にすることである。日本人の外国人への偏見や誤解をなくしていくこと、またその逆の一つの機会になることを目指す。</p> <p>市教育委員会では日本語の理解が十分でない外国人児童・生徒に対し、編入学受け入れ時に日本語支援を行っているが、生活に必要な言語習得、学習用語の理解は難しく、授業についていけない場合がある。そこで当教室に参加することで、外国人児童・生徒は学校外での日本語教育に触れるきっかけを作り、日本人は専門的な日本語教育者ではなくても、地域レベルで日本語学習支援ができることを実感し、当教室終了後でも各々が継続した日本語学習の場を作れるようにする。</p>
	<p>内容</p> <p>【日本語指導員養成講座初級編】「夏休み親子日本語教室」で補助教員として教えるための具体的な指導法を学び、演習（模擬授業）を体験することで体得する。</p> <p>【夏休み親子日本語教室】10日間の日本語教室。レベル分けをし、実施する。</p> <p>〈指導目標〉①市内在住の外国人児童・生徒が日本語を学び、楽しく日本で暮らす手助けをする。②夏休みを活用し、各学校を離れて外国人児童・生徒が学習能力に合わせて日本語を学ぶ体験の場を設定する。③レベル別に日本語の基礎を教え、自学能力を養い、学校内外で順応できるようにする。</p> <p>【国際交流パーティー】「夏休み親子日本語教室」の学習成果として外国人児童・生徒による作文発表を行う。</p>

事業の実績	<p>4月 実施企画と役割分担分け</p> <p>5月～8月 広報活動</p> <p>5月 チラシ作成、チラシ配布箇所・方法確認 市教育委員会の後援名義申請</p> <p>6月 「日本語指導員講座初級編」「夏休み親子日本語教室」の教師手配、教室長選出 カリキュラム作成</p> <p>7月 教室長と事務局打ち合わせ</p> <p>7月～8月 「日本語指導員講座初級編」実施</p> <p>8月 「夏休み親子日本語教室」実施 「国際交流パーティー」実施</p>
-------	---

事業の成果・効果	<p>【日本語指導員養成講座初級編】受講生9名 ボランティアで日本語を教えた経験のある方、これからボランティアを始めてみようと思っている方たちが参加。経験の有無に関わらず、日本人なら誰でも日本語を教えられるという考えではなく「日本語を正しく教えるための指導法を知りたい」と意気の高い方たちばかりだった。そのため、講義中には活発な質問がなされ、皆が積極的に実践を試みた。</p> <p>「夏休み親子日本語教室」にて正教員として教えられる方の育成も志したが、まずは補助教員として学習サポートをし、実際の授業を体感することが優先された。それにより受講生各々が学びを深められたので結果的に良かったと感じている。</p> <p>〈受講生の声〉「教え方を学び、統一性を持って学習者に向かうこと、すなわち学習者にとっても迷いが泣く、大切なものを徹底的に身につけることができるということ。これはとっても感動しました。」「日本語を教えるということはとても奥の深いことだとつくづく感じました。」</p> <p>【夏休み親子日本語教室】 参加者 外国人6名(4～15歳までのフィリピン・中国籍) 日本人21名 学習者の中には来日間もなく、日本人の友達はおろか、日本語が出来ないために外出も出来ない様子が窺い知れた。当初は保護者の方と連絡を取りながら会場の案内をしたり、授業開始時間が過ぎても来ない時には連絡をし状況を伺うなど、個々のサポートを心掛けた。中学生の学習者の妹、弟は参加費は徴収せず教室に呼び、参加できる場所は一緒に学習させた。国内の日本語教育支援とはどんなものなのか、参加者が実感できたことが良かった。</p> <p>「日本語指導員養成講座初級編」を受講し、補助教員を務めた参加者からは「講座で習ったことが実際の授業で行われていた。補助教員として学んだことを忠実にを行うことで、学習者の反応が得られたことが嬉しかった。」「プロの教師の方々と話したり、授業に参加させて頂くことで、まだまだ学ぶことが多いと感じた。」などの声を得られた。</p> <p>【国際交流パーティー】 外国人日本人あわせて39名が参加。作文発表やゲームなどを楽しみ、新学期に向けての心構えができた様子が伺われた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 日本語指導員講座はほぼ予定通りの参加者をつづることができた。外国人の参加者はやっと10名を超えたところ。広報に工夫が必要。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた <input checked="" type="checkbox"/> 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ) 同上(参加した子どもたちについてはほとんど表情が明るくなっていて、現場の教師が効果を肌で実感したとのこと。</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ <input checked="" type="checkbox"/> 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ) 参加者が集まらなかったため、市の交換便でのチラシ配布を2度にわたって行なうなど、追加の広報活動を行なったため。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>今後も地域のニーズに合わせ、夏休みや春休みに親子教室を開催していきたい。 (2008年3月に杉並区で親子日本語教室を開催し、全小中学校長に直接コンタクトをとるなどして、参加者数など一定の成果をみた。)</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	高尾周辺花めぐりガイドブック		
団体名	高尾の野花を見る会		
事業費	2,050,000円	補助金額	1,000,000円

事業の目的・内容	<p>目的 高尾周辺は自然の宝庫です。 周辺の写真を撮り始めて10年以上経過しました。高尾山を紹介する花の本はたくさん出版されていますが、この本は高尾山やその周辺に咲く、普段見落とされがちな小さな花やあまり見られない花を中心に構成しました。 山歩きやハイキングで野の花を楽しむだけでなく、貴重な自然を保護し未来に残していくことを重要な課題と考え、山歩きのルールとともに多くの方々に知っていただくことを目的としました。</p>
	<p>内容 高尾を中心とし、陣馬や元八王子、恩方周辺に咲く、小さくても可愛い野花の写真集を発行し、子供たちから大人まで、気軽に楽しんでいただける本として制作しました。本書の反響は大きく、様々な問い合わせもあり、野花を通して地域の観光や環境学習など、市民の方々に喜ばれる内容となりました。</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> * 地域の小中学校や図書館などに『高尾周辺花めぐりガイドブック』を贈呈。喜ばれています。 * 地域の商店街で花めぐり写真展を開催（来場者約8,000人。平成19年8月～11月） * 第28回八王子いちよう祭りオリジナルイベントとして、八王子中央図書館で『高尾花めぐり写真展』を開催。 来場者1,500人、平成19年11月17,18の2日間）写真点数700枚。 * 平成19年10月1日に仕上がり、京王高尾駅の書店店頭にて地域の本として並ぶ。 * 平成19年10月10日より地域商店街で販売開始。 * 平成19年12月末で約1,500冊を販売。 平成20年3月末で2,400冊販売。小中学校などに2,500冊贈呈し残数約100冊となる。
---------	--



事業の成果・効果	<p>1、高尾の野花を見る会のネームバリューが広く認知されました。</p> <p>2、地域の子供たちに観光や環境のマナーの大切さを伝えることが出来ました。</p> <p>3、本書の発行により多くの方々からの問い合わせや来訪者との会話の機会が増え、交流が活発になりました。</p> <p>4、あまり注目されない、極めて小さな野花を多くの方々に紹介出来ました。</p> <p>5、本書の発行により、花をカメラで撮りたいという方の声が多く聞かれました。</p> <p>6、本書の発行により、野花の会の会員が増えました。(約40名)</p> <p>7、本書の発行に伴い、平成20年春より月2～3回程度の観察撮影会をスタートさせました。</p> <p>8、本書の再販の声が多く、完売後再販を計画しています。</p> <p>9、多くの方々がこの貴重な自然を守り、野花を保護しようという意識が生まれてきたように思います。</p> <p>10、野花の撮影会の人気が高く、更に今後、多くの開催を計画しています。</p> <p>11、高尾の野花を見る会のホームページを開設することが出来ました。</p> <p style="padding-left: 40px;">ホームページアドレス http://outdoor.geocities.jp/takaonobana/</p> <p style="padding-left: 40px;">メールアドレス kumiai7032takao@yahoo.co.jp</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>平成20年度は本書の再販を計画しています。 また、平成20年度市民企画事業補助金申請を行い、高尾周辺花めぐりガイドブックで紹介出来なかった八王子の花めぐりマップの制作を計画しています。 また、本書の発行をきっかけにして、会員数も増加してまいりましたので平成20年春より、月1回以上の山歩きやマナーの講習会、花の撮影会、市内の花めぐりを行う予定です。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子散策ポケットブックの作製		
団体名	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所		
事業費	988,459円	補助金額	494,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>地域の観光や歴史に関するガイドブックは各種見られますが、地域の産業振興に結びつく内容が最も深く、もっと八王子を詳しく知りたいと思う人達向きの出版は少ない感じが致します。</p> <p>また、市民の健康作りの探索にも興味を持って読めるポケット版ガイドブックを発行することによって、八王子市民以外の来訪者をもっと集めるようにしたい期待をもって、手軽に買い求め持ち運べるガイドブック作製を考えました。</p>
	<p>内容</p> <p>地域の文化や歴史に親しんでいただくことが、市民の地域への理解を深め合わせて食事の店や喫茶店等を紹介し、地域における消費を推進することが地域文化の発展に大いに貢献すると思われる。このことを踏まえて、スタッフによりポケット版のガイドブックを作製し、配布する。</p>

事業の活動実績	<p>初年度としては、「昭和の日」制定を記念して「武蔵野陵周辺」を第1巻で取り上げ、第2巻に市民があまり知られていなかった、非常に謎を秘めた南北朝時代の片倉から高道祖神社に至るルートを散策する、片倉城、廣園寺、真覚寺、高宰神社を探るルートを企画し、更に八王子と、最も早く地名が紹介された川口地区、最古の街道と見られる、陣馬街道等を取り上げるべく準備致しました。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>第1巻については、「昭和の日制定」の意義が十分に徹底出来ず、出版部数の半分程度の、約7百冊に留まりました。売価は300円でしたが、書店への卸値が200円で、期待値に及ばなかったことが、残念でした。</p> <p>書中の鈴木正三については、多くの方に関心を持って頂けました。正三のモラルこそ、現代人に重要な事だと思えます</p> <p>第2巻については、印刷中に新事実が判明し、訂正の上、印刷しました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>第2巻の発行に際し、9月、眼病を患い文献が読解不能となって、第2巻の出版が遅れてしまいました。第3、第4巻もまとまって居るのですが、目下の読解力では正確を期しがたく、次年度の5月末の手術結果に頼らざるを得ないこととなり、今年度は、大変申し訳ない結果となってしまいました。</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p> <p>本の売上が夏以降、期待以下であった事</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>上記の理由による。</p>
	その他、評価すべき点等	

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>上記の事情で、文献は収集してあるのですが、十分に読解力を回復させ、第3、第4巻の企画は、改めてチャレンジしたいと思っております。先人が発表しているより濃い内容にするため、文献読解に時間をかけるべく、眼病の治療を優先させたいと思っております。</p> <p>いちょう祭りは、別の有力な方をお願いし、5月、6月に眼病治療を行い、文献の読解力を回復させた上で、再チャレンジの機会をお与え頂ければ幸いと存じます。</p>
---------	---

平成 19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	越中八尾おわら風の踊り in 八王子 (おわら風の盆)		
団体名	八王子「おわら風の盆」の会		
事業費	3,795,348円	補助金額	800,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>54万人の玄関口である八王子駅周辺の観光振興と地域活性を計り、八王子のイメージの向上を生み出す一助とし、越中八尾おわら風の踊り in 八王子を実施をした。</p>
	<p>内容</p> <p>全国的にも大変人気のある富山県八尾のおわら風の盆を八王子に招聘し、市民の方々は許より他市・他県の方々にも伝統文化観覧戴き、市在住のおわら踊り研究会の花乃実会、越中おわ節を楽しく会、武州越中おわら風の盆愛好会、中町芸者衆の踊りに参加協力戴き行なう。また、一般市民に本場八尾の方々による踊りの指導や戴き、最後には全体で踊りを満喫した。</p>

事業の活動実績	<p>本場富山県八尾緑町の町民の方々が踊り手・地方で総勢19名の参加。</p> <p>輪踊り会場は、横山町公園・中町公園・三崎町公園・三和会商店特設会場・ユーロード旭町地区の5会場公演を行う。</p> <p>流し踊りは、二連の流し踊りを行うことが出来た。おわら踊り研究会の花乃実会、越中おわ節を楽しく会、武州越中おわら風の盆愛好会、参加加協のもと行ないました。</p> <p>今年も流し踊りに一般市民の方々も参加し三和会商店街通り、駅前銀座商栄会通り、パーク老番街通りを流し踊りを楽しんでいました。最後に中町公園で市民を含め全員参加の輪踊りをを行い更なる満期に酔いしれていました。</p> <p>また、各会場には昨年に同様1時間以上前から待ち続ける人達で大変でした。輪踊り会場から流しの会場へ移動をしたりし、路地裏に人の流れを多く目に付きました。</p> <p>今年は、継続をしてきた事と大変人気があり多くの見物人が来るので、警備面では八王子警察の方々にもご協力を戴ける事になりました。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<p>事前のPR活動(市の広報・ショッパー・横断幕の飾り付け・ポスター掲示・チラシ配布等)を行うことにより、事務局には毎日問合せの電話が続いた。(自分たちも踊れるの・八尾から何人来るのか・会場・時間等々)</p> <p>輪踊りでは、本場富山県八尾緑町の町民の方々による公演を横山町公園・中町公園・三崎町公園・三和会商店特設会場・ユーロード旭町地区の5会場で行った。各会場で一般市民に踊りの動作の解説や指導を行う。各会場では募金のお願いを行い多くの市民の方より賛同を頂いた。流し踊り会場では、浴衣を着た一般参加の市民が加わった。</p> <p>輪踊り会場は、開演18時であるにも関わらず17時前には多くの観衆が集まり、開演時には500人を超える人だった。全ての会場で開演前に300人以上の観衆が集まっており、機材などを回しまわしで使って居るので搬入が大変だった。</p> <p>流し踊り会場では、やはり歩道にも2重3重の人垣が出来1000人以上のギャラリーが今か今かと演奏を待ち望んでいた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> でき 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>大変人気があることで、多くの観客の方が来場し、また継続してきた事で、今年は八王子警察が警備に協力をして戴けた。募金の協力をお願いする事で、一人々々が自分たちの力で支える気持ち芽生、来年も頑張ると声を掛けられた。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>八尾と八王子は織物産地そして流通、また花柳界と大変多くの接点があり、官民両輪による招聘により、観光振興と活性化をより強く推し進めたい。</p>
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	ふるさとの食を拓く		
団体名	NPOふるさとの食を拓く会		
事業費	885,298円	補助金額	160,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>食の欧米化などによる生活習慣病や不健康な食文化が今大きな問題になっています。風土に蓄積し継承された50万市民各地の「ふるさとの食」をあげながら調理し、体験し、次世代に「ふるさとの食」として誇れる文化を創造し、継承することを目的としている。</p>
	<p>内容</p> <p>「ふるさとの食」を通じた食育の推進。 「ふるさとの食」に関するフォーラム、ワークショップ開催。－「食育」に対する啓蒙 「ふるさとの食」の調査・研究。 地域の農家の商品開発支援（ブルーベリージャムの作り方教室開催など）</p>

事業の活動実績	4月	「ふるさとの食を拓く会」研究会 津久井旧家の会席料理
	5月	第22回「ふるさと食」伝承料理調理体験教室「薬膳料理」 ふるさと探訪・・・「信州松本・松代を訪ねて」
	6月	第23回調理教室「夏の伝承料理（男の料理）」
	7月	第24回調理教室「食育：親子で昔のオヤツ作り」
	8月	第25回調理教室「酒まんじゅう&お焼き」 ブルーベリー摘み取りとジャム作り
	9月	第26回調理教室 ふるさとの伝承料理「栗のシブカワ煮」
	10月	第5回「ふるさとの食を拓く会」フォーラム「メタボリックシンドローム」
	12月	第27回調理教室「古くて新しい伝承おもてなし料理」
	2月	第4回ワークショップ「食と環境問題」 第28回調理教室「メキシコの家料理」
	3月	第29回調理教室「親子の調理教室」
	その他	農耕体験7回。 理事会は毎月最初の月曜日実施。 必要に応じて三役会議実施。



食育 親子で昔のオヤツ作り 津久井



50 フォーラム

ブルーベリー摘み取り 調理体験教室

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 調理体験教室の実施により健康で豊かな生活を実現する。 フォーラム、ワークショップを行い、食育の重要性を参加者と共に考え、その知識を広める。 ふるさと食の探訪や研究会を行い、人的交流をはかる。 地域の農家の作物を利用した商品作りの支援により特色のある地域商品の振興に寄与する。 農耕体験を通じて、作物作りの基本と自然の力の偉大さ、難しさを学ぶ。 会員は食に対する本物の知識や体験を積むことでレベルアップしている。 保健所、学校、地域と提携して食育活動に参加して貢献している。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由 (2、3と答えた場合のみ) いちよう祭りは、本年度よりいちよう祭り本部のテント代に対する補助金が無くなり、赤字が大きいため、残念しました。
	その他、評価すべき点等	4年間60名以上の会員にサポートしていただけていることは感謝。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>正会員、賛助会員を増強し自立した組織を目指す。</p> <p>ジャムやふるさと食の製造販売。</p> <p>調査研究を続け、モデル事業を進め、将来事業の立ち上げの基礎をつくる。</p>
---------	---

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子子ども祭り		
団体名	八王子子ども祭り実行委員会		
事業費	1,284,642円	補助金額	400,000円

事業の目的・内容	<p>目的 「子ども達に仲間,希望,豊かな文化を!」を合い言葉に様々な分野での個人・団体が協力し合って秋の一日こどもたちが500円玉一つ持ってくれば,楽しく遊べる事業ということで,毎年企画実施しています。</p>
	<p>内容 中央舞台・第2舞台～子ども中心の歌・踊り最近では公募出演が多い 実行委員会主催のイベント～「みにSL」「乗馬」「ふれあい動物園」「フワフワ寅次郎」「くじ」他 手作りコーナー・遊びコーナー～木工作・紙工作・ビーズ・粘土細工・トンネル・オリエンテーリング 食べ物コーナー～やきそば・チョコバナナ・綿菓子・コーヒー・お汁粉・お好み焼き・御菓子・他</p>

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の事業は始まって以来一番の人出で4000人近い市民・子ども達が参加し,大盛況であった。昨年に引き続いて,市民企画事業に認定され40万円の補助金が頂けたので,充実した内容の企画ができた。 ・昨年に引き続きふれあい動物園・また猿回しに代わって呼んだ路上パフォーマンズ・などが人気があった。乗馬もポニーを呼ぶことができ白馬と共に喜ばれていた。 ・今年度の特徴として市内の大学のボランティアクラブのみなさんのたくさんの参加があり,高齢化の進んでいる実行委員会としてはとても助かった。約40人。 ・市民の公募の店も多く,特に食べ物ではお菓子の店が多くいずれも午前中に売切れてしまうなど大盛況であった。1割の還元金があり祭りの実施のための費用になった。 ・昨年に引き続きボランティアには交通費を支給することができた。
---------	--



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 祭りも第28回を無事におわることができましたが、資金難・実行委員会の高齢化など様々な問題を抱えています。とりあえず市民企画事業の補助金で一息ついているという状況です。成果としてはイベントの内容を充実させることができた。ということと、ボランティアに昨年に引き続き交通費を支給することができた。またたくさんの学生の応援を今回は得ることができ、祭りが活気づきました。何よりも荷物運搬などで若い力を借りることができたりしました。 ・ 市民の応募が多く、中央舞台もほとんど毎年恒例の出演者が位置づいています。また市民参加の出店も多く、様々な手作りコーナー・食べ物コーナーが並びました。食べ物コーナーでは保健所への届けはなかなか大変ですが、それも定着してきました。今回は4000名に近い参加者で、大体の店が午前中に完売という状況でした。 ・ 手作り遊びコーナーも充実していてほとんど無料が安い費用で様々な物が作れて喜ばれた。建設会社・教職員・学童・保育園関係様々な分野からボランティアに参加していただいている成果が祭りの成功につながっています。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	荷物の運搬・搬入・搬出・交通安全・片付けなど力を合わせて問題なく終えることができた。けがや事故もなく終えることができた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ 来年度も市民企画事業の補助金を頂いて、今年のように参加者の多い祭りを維持していきたい。 ・ 交通費などを負担することによってボランティアの負担を少しでも軽減したい。 ・ 引き続きイベントの充実をはかっていきたい。 ・ 補助金のなくなるときがくるのでその時に備えた見通しを持っていきたい。 ・ 雨天中止であるがその場合参加準備された方にできるだけ迷惑をかけないようにしたい。
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	地域社会の活性化を図る趣味の作品展		
団体名	特定非営利活動法人 めじろむつみクラブ		
事業費	254,719円	補助金額	84,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>高齢化率が市内でも特質化しているめじろ台地区において、地域の活性化を図り、高齢者においては生きがいを、また地域住民が連帯感を持てるよう趣味の作品展開催を企画した。</p>
	<p>内容</p> <p>趣味の作品展</p> <p>18年度において市民企画事業補助金を頂き、2回目の趣味の作品展を開催したが、知名度も上がり新規に展示希望者や鑑賞者の開催希望も多く、今回で3回目になる作品展を昨年に引き続き地元マンションの集会室を利用して開くことにした。</p>

事業の実績	<p>趣味の作品展</p> <p>制作者にとっては生きがいを、鑑賞者には身近な人の作品への驚き、感動を与え、交流の機会が広がる作品展を下記の通り実施した。</p> <p>開催タイトル : 第3回「趣味の作品展」</p> <p>開催日時 : 平成19年11月10日(土)～11日(日) 9:00-17:00</p> <p>開催場所 : めじろ台駅前 ライオンズマンション集会室</p> <p>出展者 : 70人</p> <p>鑑賞者 : 276人(スタッフ、出展者含む)</p> <p>内容 : 絵画、写真、書、絵手紙、ちぎり絵、俳句、短歌、刺繍、ぬいぐるみ、陶芸品、手芸品、木工芸品、ハッチワーク、つるし雛、帆船模型、木彫り、木工品、きめこみ人形、折り紙、絵皿等 総数103点</p>
-------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>3. 趣味の作品展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回は出展者70人と2回目の50人に比べ増加、作品も88点から103点と大幅に増加した。 ・出展者、来場者の反響は「来年は是非出品したい」、「来年も開催して欲しい」、「習いたいので作者を紹介して欲しい」、「孫も子供も来てくれて尊敬された」、「あの作品が欲しい」等々の声が聞こえた。 ・展示場の1画にスタッフの一員及び住民が所有していた昔のめじろ台の土地造成工事や、京王高尾線の開通に合わせて販売されためじろ台の分譲地騒動を報じた当時の週刊誌のグラビア写真を発行者(朝日新聞社、京王電鉄)の許可を取り、展示したが大好評であった。 また40年前のめじろ台近辺の写真については写真絵葉書にして販売したが全部で180枚売れて販売益を開催費用の一部に充当することが出来た。 ・制作者にとっては自分の作品を観て貰えること、又作品を通して感動や連帯を、特に高齢の作者には生きがいと喜びを与えられたのではないかと思う。 <p>全体を通して、スタッフには自分の得意な分野を生かし、わずかな報酬ではあるが作業への参加をして頂いた事は皆に喜ばれる仕事をしたと言う点でスタッフ本人自身にとっても生きがいになったことと思われる。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3, 4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんどおなじ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2, 3と答えた場合のみ) ・今回は出展者が大幅に増えたため出展料は当初計画以上に、また昔の写真絵葉書を販売することにより収支を改善することが出来た。 ・又今回で3回目になるため前回使用した資材等を再利用することが出来て経費を節減することが出来た。
	その他、評価すべき点等	地域での我々「NPO法人 めじろむつみクラブ」の活動が認知されつつあり、会員数も増えてきた。

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・作品展については知名度も高まり、来年度は更に展覧希望者も増える可能性がある。今までは1作者2点以内の展覧としていたが展示する場所も限られているため次回からは1点として、より多くの出展者を集め制作者、鑑賞者共々喜ばれる展示会に発展させて行きたい。 ・今回出展者増による出展料の増、写真絵葉書販売益等で、開催費用を相殺することが出来、補助金も少なくすることが出来たので今後は極力補助金に頼らず開催出来るよう更に努力して行きたい。
---------	--

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子ども支援と高齢者に生きがいつくり、世代間交流		
団体名	きよびー		
事業費	¥4,370,549円	補助金額	¥600,000円

事業の目的・内容	目的 地域に子ども支援と高齢者のための活動拠点をつくり、生きがいつくりと世代間の交流を通して連帯感を養い住みよい町つくりと、子ども支援や高齢者の生きがいつくりのためのイベントを実施する。
	内容 1. ボランティアによるサロン活動や厨房でのランチ・惣菜つくりと販売を通し、地域住民との交流と親睦を深め、高齢者の生きがいつくりと住みよい町つくりを推進する。 2. 子ども支援や高齢者支援と世代間交流などの観点からイベントを企画実施する。

事業の活動実績	<p>1. サロン活動</p> <p>(1) 毎週月・木・土・日の4日間(祭日は除く) 10:30~17:00までボランティアにより交代でサロンを運営し、ランチや惣菜を作り、販売等の活動をした。</p> <p>(2) 参加者同士の親睦と連帯感を深めるとともに、サロンを利用する地域の人々との交流を通して情報交換や助け合いの機運を高めることができた。</p> <p>2. 地域との交流</p> <p>(1) きよびー設立1周年記念事業 5月19日(土) 10:00~15:00 清川自治会館にて、次の各部門別実施し、多数の地域住民との交流を図る。 食品販売部門：手作りの惣菜販売、餅つきなど バザー部門：日用品、衣類、子ども用品などの販売 芸能部門：フラダンス、民舞、寸劇、手品などの発表</p> <p>(2) 朝市の実施 9月から3月まで(12月は除く)の月末の日曜日 9:00~10:00 近郊農家の協力をえて季節の有機栽培野菜を中心に、きよびー前の歩道で販売。近隣住民の関心も高く多くの方で賑わい30分余りで完売することが多かった。</p> <p>3. 子ども支援</p> <p>(1) 夏休み川遊び 8月7日(火) 10:00~14:00、場所は、榎原小学校近くの北浅川 参加者は、69人(子ども48人、大人21人)、ニジマスのつかみ取りと飯ごう炊飯。</p> <p>(2) 春休み川遊び 3月29日(土) 10:00~13:00、場所は、榎原小学校前の川原 参加者は、36人(子ども23人、大人13人)、笹船を作り、思いのままに川で遊び自然に親しみ昼の献立「せんべい汁」を皆の協力で作ること。</p> <p>4. 高齢者支援、子ども支援イベント</p> <p>(1) 介護施設の見学会 10月6日(土) 9:00~16:40 地域包括支援事業所の協力をえて、第二徳寿園(特別介護老人ホーム)、真秀の里(グループホーム)、こまくさの家(グループホーム)、ウエストケア(老人保健施設)、いづみヒルズ(ケア付マンション)など施設をマイクロバス2台に分乗して見学。参加者は、40名。</p> <p>(2) 群読「鉄道員」の公演 11月28日(水) 14:30~15:30 劇団「東京ルネッサンス」(主宰 増岡弘)による浅田次郎作・鉄道員(ぼっばや)の群読公演。聞く演劇といわれる群読は初体験の人が多く、好評であった。 参加者は、八王子第二中学校生徒全員(345名)と地域住民190名の計535名。</p>
---------	--

事業の成果・効果	<p>1. サロン活動 サロン活動に参加したボランティアは、毎回6～10人で高齢者が中心。利用者は1日平均30人位であった。利用者との交流や情報交換により、地域の問題点や助け合いの機運を共有できた。</p> <p>2. 地域との交流 (1) 1周年記念事業では、芸能部門で地域の各愛好会の発表、バザーでは不用品の提供と販売、手作り惣菜の販売等全ての部門において地域住民との交流を深めることができた。 (2) 朝市では、地元農産物を中心に、「フレッシュ、ヘルシー、美味しい、安い」を合言葉に提供し、大変好評であった。</p> <p>3. 子ども支援 春休み・夏休みの川遊びは、子どもたちがのびのびと自然に親しみ、遊びを通して環境問題にふれ自然の大切さが理解できた。</p> <p>4. 高齢者支援、子ども支援イベント (1) 介護施設見学会は、特別老人ホーム、老人保健施設、グループホーム、ケア付マンションなどを実際に見学し、知識を広めるとともに老後の問題を考えることができた。 (2) 聞く演劇といわれる群読「鉄道員」の公演は、初体験の人が多く、一人ひとりの登場人物を演じる俳優達の迫力に圧倒され参加者一同引き込まれてしまい感動的でした。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 できた 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) ・惣菜等については、材料費の値上がりと経験不足により、変動幅が大きかった。そのため機関紙発行の余裕がなかった。 ・イベント収入については、参加者のから協力が大きかった。
	その他、評価すべき点等	実態を把握し、地域住民との共通理解をえながら、初歩的な問題から確実に対処していくことの重要性を学ぶことができた。
今後の事業展開	<p>(1) 高齢化が進む地域での支援活動は、計画倒れにならないよう住民の和を広げ共通の問題から協力して実施していくことが必要である。そのための方策を考えたい。</p> <p>(2) 青少年の健全育成のためには、地域と子どもたちの交流を通し信頼関係を養うことが重要である。そのためイベントを考えて行きたい。</p>	



サロン活動



川遊び

平成19年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	「八王子の手話」ガイドブック		
団体名	八王子市聴覚障害者協会		
事業費	1,081,160 円	補助金額	515,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>平成19年に協会創立35周年を迎えるにあたり、当会の義務ととらえて八王子固有の地名手話を記録し、伝えていくために、「八王子の手話」ガイドブックを刊行することを目的とします。</p>
	<p>内容</p> <p>「八王子の手話」に掲載の手話表現のイラスト作成を18年度に行いましたが全て終らなかったため、引続き作成を依頼、完成した手話表現の確認をし、平行してコラムやマップ等の原稿を作成しました。11月に2000部を印刷し、12月の創立35周年記念式典で発行となりました。発行後は本の広報活動に努めたほか、八王子市など関係機関には手話の普及を目的として完成した本の寄贈をしました。</p>

事業の活動実績	<p>編集会議は基本的に毎月第2、4週目の火曜日としていましたが編集作業終盤には毎週火曜日に会議を行い、他にも臨時編集会議を設けるなど、主に子安市民センター、北野市民集会所にて延べ34回もの会議を開催しました。</p> <p>最終的に本に掲載した手話表現は372表現(多様性を表す表現として同じ町名・施設で違う表現構成を併記した分は別カウント)50音を表す指文字と合計422表現になりました。なお、依頼して描いて頂いた手話表現のイラスト数は432(指文字50枚含む)にもなりました。ページ数も300ページを越えました。</p> <p>印刷部数は2000冊で、そのうち192冊を協会創立35周年記念式典参加記念品として配布、寄贈分として八王子市に285冊、関係機関(八王子市社会福祉協議会、図書館、大学、本に掲載した施設・団体、及び関係する聴覚障害者関係施設・団体など)に220冊、合計505冊を寄贈しました。いずれも手話の普及を目的としたもので、窓口などで活用してほしいという願いを込めて寄贈しました。</p> <p>新聞等にも取り上げていただき、平成19年12月1日の朝日新聞に掲載されたのをはじめ、ケーブルテレビ1社、新聞・タウン紙・雑誌等12紙、聴覚障害者関係のホームページなどに掲載され(平成20年6月10日現在)それらを通じて購入申込みもきています。市内の手話サークルや手話講習会、民生委員等を通して購入があり、平成20年3月末で600冊以上の購入がありました。</p>
---------	--



様式9 (2枚目)

事業の成果・効果	<p>八王子の地域の手話の本を作成することは長年の当協会の宿願でした。以前から手話講習会などですぐ参照できる地名手話の本の必要性がささやかれていましたが、手話表現の統一の検討などを行うものなかなか果たせないうでいました。この度、市民企画事業補助金を交付頂いたことで本を完成することが出来、八王子市内の聴覚障害者や手話学習者にとって、今後の手話の講習などで活用されることが期待できます。本を活用することで、公の場での手話表現が統一され、だれもが八王子独自の手話表現を確認することに大いに役立ちます。</p> <p>また、活動実績でも述べましたように、八王子市や関係機関・団体に本を寄贈することができたことやマスコミに取材いただいたことで、多くの市民の方に聴覚障害者の存在を知って頂くことや手話の理解につながると考えています。また八王子そのものの PR にもなったと考えています。特に市民企画事業補助金を通して八王子市に多大なご協力をいただきましたが、聴覚障害者が行政と協働して事業を進めるといことは今まであまりなかったことであり、市の職員の方々にも聴覚障害者の存在を実感していただけたものと思っています。以上のことから「手話を広める」という効果があったと確信しています。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>本のページ数が当初予定していたより多くなったため、単価を 1,000 円から 1,200 円に変更しました。また相当数を販売できたため、協会の負担額が少なくなりました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>手話だけではなく八王子の情報(観光など)も載せたことで八王子そのものの PR につなげました。</p>

自己評価の欄は、番号に を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>残部を販売し、その収益を充当して約5年後に内容をさらに充実させた改訂版を作成することを予定しています。</p>
---------	--

6 成果報告会 アンケート結果

アンケートの概要

実施日	平成20年5月31日(土) 成果報告会にて
対象	成果報告会に来場された方
内容	各団体の活動や成果報告会等に対するご意見・ご感想
回答数	11

(1) 各団体へ寄せられた主なご意見・ご感想

事業名	脳とくらしの活性化「脳がめざめるアート塾」		
団体名	ヒーリングアート・パステルカフェ	事業成果報告の記載ページ	P6

- ・ 芸術療法という、あまり知られていない方法の周知ということで色々苦勞があったことが分った。安価で体験できるこのような事業が増えると良いと思う。(30代男)
- ・ 活動の中身がわかりづらい。(50代男)

事業名	紙芝居普及活動		
団体名	わくわく紙芝居サークル	事業成果報告の記載ページ	P8

- ・ イベントでの収益アップも頑張してほしい。(40代女)

事業名	音楽療法体験・ワークショップ		
団体名	豆の木音楽療法研究所	事業成果報告の記載ページ	P10

- ・ 音楽療法とは何かという説明が足りないように感じた。良い点は何か、なぜ必要なのか良く理解できなかった。(30代男)
- ・ 評価がない。発表内容分りやすい。(40代男)
- ・ 原理や効果・実績がわかりにくかった。(60代男)

事業名	不登校ひきこもり者自立支援及びカウンセリング新事業に関する広報活動		
団体名	カウンセリングスペースまてりあ	事業成果報告の記載ページ	P12

- ・ カウンセリング、箱庭療法など専門的な知識技能が必要な事業だが、スタッフに臨床心理士やケースに対してアドバイスしてもらえるスーパーバイザーが居るのかという点が気にかかった。(素人のカウンセリングが逆効果になることもあるので)(30代男)
- ・ 事業費と補助金と同じ。残金があるのか否か内訳がどうなのか(60代男)

事業名	里山風景の復元と自然体験できるフィールドづくり		
団体名	畦っこ元気くらぶ	事業成果報告の記載ページ	P14

- ・ 地域に根付いた活動で、広範囲の人(児童から大人)が参加できることが良いと思う。また、子どもが田植えを通して事前の大切さなど感じる機会が多く作られる事で教育にも良い効果であると感じた。(20

代女)

- ・ 近隣の小学校だけでなく、逆に自然と触れ合う機会の少ない町中の学校の総合的な学習の時間として連携していくことが出来れば、もっと多くの効果が期待できると感じた。(30代男)
- ・ 川口小学校以外の子どもたちにも活用してもらったらどうか。(60代男)

事業名	第5回七夕交流会
団体名	南大沢音訳の会「こだま」
事業成果報告の記載ページ P16	

- ・ 補助金が効果の源となった話だった。補助金をより出すべきと考えられるが、無いと駄目になるようにもとれる。(60代男)

事業名	荒廃竹林の整備と竹紙生産に関する研究及び啓発事業
団体名	八王子住まいづくり市民塾
事業成果報告の記載ページ P18	

- ・ 本当に事業化展開できるのか(60代男)

事業名	市民参加型援農活動による農業の活性化
団体名	すずしろ22
事業成果報告の記載ページ P20	

- ・ 農家と市民のコーディネート・マッチングとても良い活動だと思った。最近口ハスや食の問題が多く取り上げられる事が多く、自給自足の生活や無農薬など、有機栽培に興味がある人が多くいると思うので、頑張っていて知られていけば良いと思う。(20代女)
- ・ 就労の機会を探している障害者の参加が可能であれば、更なる効果が出てくるのではないかと非常に良い試みだと思った。(30代男)
- ・ 八王子の道の駅での活動「地産地消」どうしているのか。(60代男)

事業名	子育て学習会(リトルアプリコット)
団体名	リトルアプリコット
事業成果報告の記載ページ P22	

- ・ 大変良い活動と思う。(60代男)

事業名	英語劇を通して学ぶ多文化理解事業
団体名	アクティヴライン・八王子
事業成果報告の記載ページ P24	

- ・ 小さな頃から他文化を知る事は良い経験になると思う。(40代女)
- ・ どちらかと言うと国際交流活動の方に思える。(60代男)

事業名	デージー図書作製
団体名	八王子朗読の会“灯”
事業成果報告の記載ページ P26	

- ・ 大切な活動。一般のCDデッキでは無理なのか。(40代女)

事業名	学校図書館 999(キューキューキュー)!	
団体名	八王子に学校図書館を育てる会	事業成果報告の記載ページ P28

- ・ 何をやりたいのかわからなかった。(30代男)
- ・ 事業が安定していくことで長く活動ができ、広がると良い。(40代女)
- ・ 学校図書館をどうするのかわからない。学校の子供・先生とは関係しているのか否かも不明。市民に活用させようとする意味も。(60代男)

事業名	八王子大江戸舞祭2007 八王子合同合宿	
団体名	八王子大江戸舞祭実行委員会	事業成果報告の記載ページ P30

- ・ 大江戸ダンスは知らなかった。イキイキした表情の子供たちのスライドを見て実際に見てみたくなった。(40代女)
- ・ 参加者が少なく、当事者たちのダンス会に聞こえる。なぐさめ合い祭りに聞こえた。(60代男)

事業名	夢あるまちづくり	
団体名	夢あるまちづくり協議会	事業成果報告の記載ページ P32

- ・ イベントが多岐にわたってとても活動的。地域住民のまちづくり意識も高そう。(40代女)
- ・ 特定地区の活動なので他への展開も期待したい。(60代男)

事業名	八王子健康生きがいフェスティバル	
団体名	多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会	事業成果報告の記載ページ P34

- ・ イベントを継続させるには有料で良いと思った。(40代女)
- ・ 大変良い活動だと思った。より広い地域でやってもらえればと思う。(60代男)

事業名	外国人のデジタルデバイド解消のための相談会	
団体名	情報ボランティアの会(八王子)	事業成果報告の記載ページ P36

- ・ 相談者が少ないという点、関係他団体と交流してみても。(40代女)
- ・ ご苦労のある立派な活動と思った。(60代男)

事業名	「滝山城ガイドブック」の作成(出版)	
団体名	滝山城跡群・自然と歴史を守る会	事業成果報告の記載ページ P38

- ・ 再版おめでとうございます。(40代女)
- ・ ガイドブックの活用を期待したいと思った。(60代男)

事業名	3世代交流広場事業	
団体名	おおきに	事業成果報告の記載ページ P40

- ・ 素晴らしい事業だと思った。学校の空き教室を夕方から開放できれば、このような活動がもっと広がって

いくのではと感じた。(30代男)

- ・ 「スペース0 100」の意味がわかった。地域コミュニティがもっと広がると良い。(40代女)
- ・ 大変良い内容。どこで誰でも活用できるのが公になっていないのが残念。その地域だけのものなのか。(60代男)

事業名	「夏休み親子日本語教室」	
団体名	特定非営利活動法人 全国日本語教師会	事業成果報告の記載ページ P42

- ・ 活動の広がりを期待している。他団体ともつながりを。(40代女)

事業名	高尾周辺花めぐりガイドブック	
団体名	高尾の野花を見る会	事業成果報告の記載ページ P44

- ・ ガイドブックの作成を通じて自然保護の意識を高めようという試み、直接的な保護の訴え以上に効果があるように思った。(30代男)
- ・ 撮影会？講習会？報告書と発表内容を聞いて分らなくなった。(40代男)
- ・ 高尾周辺の野花が特別なもののように聞こえる。良いとは言えない。自分のグループの宣伝のよう。(60代男)

事業名	八王子散策ポケットブックの作製	
団体名	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所	事業成果報告の記載ページ P46

- ・ 大変面白いと思った。健康にお気を付けて、また、ご同好の方と協力し続けていって欲しいと思った。(30代女)
- ・ 活動を支える他のメンバーの方の協力で3巻が発行できると良い。(40代女)

事業名	越中八尾おわら風の踊り in 八王子(おわら風の盆)	
団体名	八王子「おわら風の盆」の会	事業成果報告の記載ページ P48

- ・ 流し踊りの時の生唄がもっと聞こえるようにお願いします。楽しみにしている。(40代女)

事業名	ふるさとの食を拓く	
団体名	NPO ふるさとの食を拓く会	事業成果報告の記載ページ P50

- ・ 他団体や、行政との協力が進められているところが、素晴らしいと思った。(30代女)
- ・ 理論と実践(体験)よりわかりやすい。活動地域はどの辺りになるのか。(40代女)

事業名	八王子子ども祭り	
団体名	八王子子ども祭り実行委員会	事業成果報告の記載ページ P52

- ・ 群続はおもしろい。(30代男)
- ・ 長年の活動が拡大方向にあるのが素晴らしい。他団体と協力されている中でのことなのでしょう。(30代女)
- ・ 食べ物店の利用する器をリサイクル食器を利用してはどうか。子どもたちにエコを体験してもらえと思

う。(40代女)

事業名	地域社会の活性化を図る趣味の作品展	
団体名	特定非営利活動法人 めじろむつみクラブ	事業成果報告の記載ページ P54

- ・ 他の地域の参考になる事業だと思った。作品の出品者だけでなく、作品展のスタッフの方たちの生きがいや、やりがいがあるという部分が素晴らしい。(30代女)
- ・ 同じような活動が他地域にも広がると良いと思った。(40代女)

事業名	子ども支援と高齢者に生きがいつくり、世代間交流	
団体名	きよびー	事業成果報告の記載ページ P56

- ・ 一周年という中でたくさんの事業を成功されていて皆さんの頑張りに感服した。息長くやっていただきたいと思った。(30代女)
- ・ 地域課題を上手に解消しているように見えた。(40代女)

事業名	「八王子の手話」ガイドブック	
団体名	八王子市聴覚障害者協会	事業成果報告の記載ページ P58

- ・ 活動もプレゼンもしっかりしていると思った。今後の活躍を期待する。(30代男)
- ・ ガイドブック購入しました。今後へのスタートであるという発言を聞いて頑張ってもらいたいと思った。(30代女)
- ・ 大変根気の必要な作業であった事が伝わってきた。新聞にも大きく載っているのを見た。お疲れ様でした。(40代女)

(2) 成果報告会についての主なご意見・ご感想

- ・ 会場に来ている市民の数が少なすぎる。関係者のみが会場に来ているというようなところもあり、せっかくの成果報告会が内輪だけに終わっている感じが否めない。とても良い内容の報告が多いただけにもったいないと思った。報告会開催のPR強化を。(30代男)
- ・ 現在の口頭発表形式だと団体の交流が難しいので、ポスター形式で3～4時間のスタイルにすると、興味のある活動、類似の団体の交流に役立つと思う。2時間程度でも効果は期待できると思われる。(40代男)
- ・ 各団体とも非常に良い内容でわかりやすく報告していただいた。(40代男)
- ・ 団体の作品が小さく、見にくい場合がある。スポットライト等必要。(40代男)
- ・ 発表している人が他のテーマを聞いているだけという感じがする。今回の発表を見て、金額でなく、補助金を貰えたことがブランドとして活用されていることが判った。金額は30万円程度にして、多くの団体を育成してほしい。(60代男)
- ・ 良く準備されていて、ご尽力に敬服し感謝致します。(70代男)

(3) 市民企画事業補助金制度についてのご意見・ご感想

- ・ 委員の方の講評にもあったが、他団体との協力というのが成長の鍵なのではと思った。(30代女)
- ・ 助成金の具体的な収支報告が少ない気がした。どう活かされたのか明確さが必要と思う。効果がわかれば良いと思う。(40代女)
- ・ 八王子市の活性化のために補助金制度は非常に役に立つ。八王子がはつらつとして、生き生きとしたまちとなっていくためにはボランティア活動は不可欠である。その後押しをしてもらっている。(60代男)
- ・ 特定非営利活動法人著作権協会が名を変え別のテーマを出している。他の本も出している(例「高尾界限」「八王子周辺マップ」)。同じ団体が3回以上補助金とれているのもおかしい。自立している団体は補助必要ないのでは(例「大江戸舞祭実行委員会」「情報ボランティアの会(八王子)」)。(60代男)
- ・ 今後も引き続き支援していただきたい。継続的な活動が出来るよう予算も増やしていただきたい。(70代男)

7 交付団体連絡先一覧

部門	団体名	代表者名	連絡責任者		
			氏名	住所	電話番号
活動支援	ヒーリングアート・パステルカフェ	小野田照代	小野田照代	八王子市寺田町432 グリーンヒル寺田59-202	042-666-2102
	わくわく紙芝居サークル	鶴島明子	鶴島明子	八王子市子安町1-26-9-209	042-656-1086
	豆の木音楽療法研究所	永井美知	永井美知	八王子市館町598	090-4413-3093
	カウンセリングスペースまてりあ	兼広久美子	兼広久美子	八王子市西寺方町1019-59	042-689-5638
	畦っこ元気くらぶ	高野重春	高野重春	八王子市川口町2801	042-654-2683
	南大沢音訳の会「こだま」	遠藤由利子	遠藤由利子	八王子市緑町298-9	042-627-4032
	八王子住まいづくり市民塾	関谷真一	千田康方	八王子市犬目町337-15	042-625-8360
	すずしろ22	合津秀雄	飛田恵美子	八王子市暁町2-27-3	042-625-5647
リトルアブリコット	森永和子	森永和子	八王子市八幡町3-23-406	042-625-1079	
事業実施	アクティヴライン・八王子	中崎郁子	中崎郁子	八王子市館町1856-3	042-666-1184
	八王子朗読の会“灯”	小林敦子	小林敦子	八王子市散田町2-10-1	042-663-6257
	八王子に学校図書館を育てる会	大橋道代	篠原由紀子	八王子市北野台3-46-8	042-635-7756
	八王子大江戸舞祭実行委員会	小山幸夫	小山幸夫	八王子市諏訪町56-3	042-651-4018
	夢あるまちづくり協議会	沼澤仁	遠藤慎美	八王子市松が谷22-1-4	042-676-5363
	多摩健康生きがいづくりアドバイザー協議会	大山孝	野並秀行	八王子市散田町1-1-B-406	042-661-4793
	情報ボランティアの会(八王子)	千種康民	千種康民	八王子市山田町1956-4	042-637-2446
	滝山城跡群・自然と歴史を守る会	西山富保	西山富保	八王子市滝山町2-503-1	042-691-0423
	おおきに	浅野里恵子	浅野里恵子	八王子市明神町4-13-10	042-646-0766
	特定非営利活動法人 全国日本語教師会	佐藤幹雄	館比佐男	八王子市東浅川町520-904	042-665-6721
	高尾の野花を見る会	石田英夫	石田英夫	八王子市館町493-1-206	042-666-5769
	特定非営利活動法人 地域生活文化研究所	大野聖二	大野聖二	八王子市追分町10-4-201	042-624-8110
	八王子「おわら風の盆」の会	福山眞吾	青木訓行	八王子市三崎町3-2東京ビル1F	042-625-3771
	NPOふるさとの食を拓く会	星野厚子	星野厚子	八王子市狭間町1994-72	042-663-5459
	八王子子ども祭り実行委員会	横山敏郎	細井佑子	八王子市館町263-8	042-666-1028
	特定非営利活動法人 めじろむつみクラブ	高橋光男	東隆夫	八王子市めじろ台2-35-5	042-669-3303
きよぴー	近藤功	本間重利	八王子市清川町1-4	042-623-8120	
八王子市聴覚障害者協会	宮本一郎	佐野幹子	八王子市大横町11-35	FAX 042-628-2181	

平成19年度
市民企画事業補助金
成果報告書



平成20年7月発行

発行 / 八王子市
企画・編集 / 市民活動推進部協働推進課

〒192 - 8501 八王子市元本郷町三丁目 24 番 1 号
電話 042 - 620 - 7401 F A X 042 - 626 - 0253
e-mail b050700@city.hachioji.tokyo.jp
U R L <http://www.city.hachioji.tokyo.jp/shiminkatsudo/index.htm>

